

協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書
(平成30年度実績)

令和元年9月

仙台市

目 次

I	はじめに	1	頁
II	基本施策に関する事業	2	頁
	1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項	3	頁
	2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項	10	頁
	3 多様な主体による活動の促進に関する事項	16	頁
III	市民協働事業	33	頁

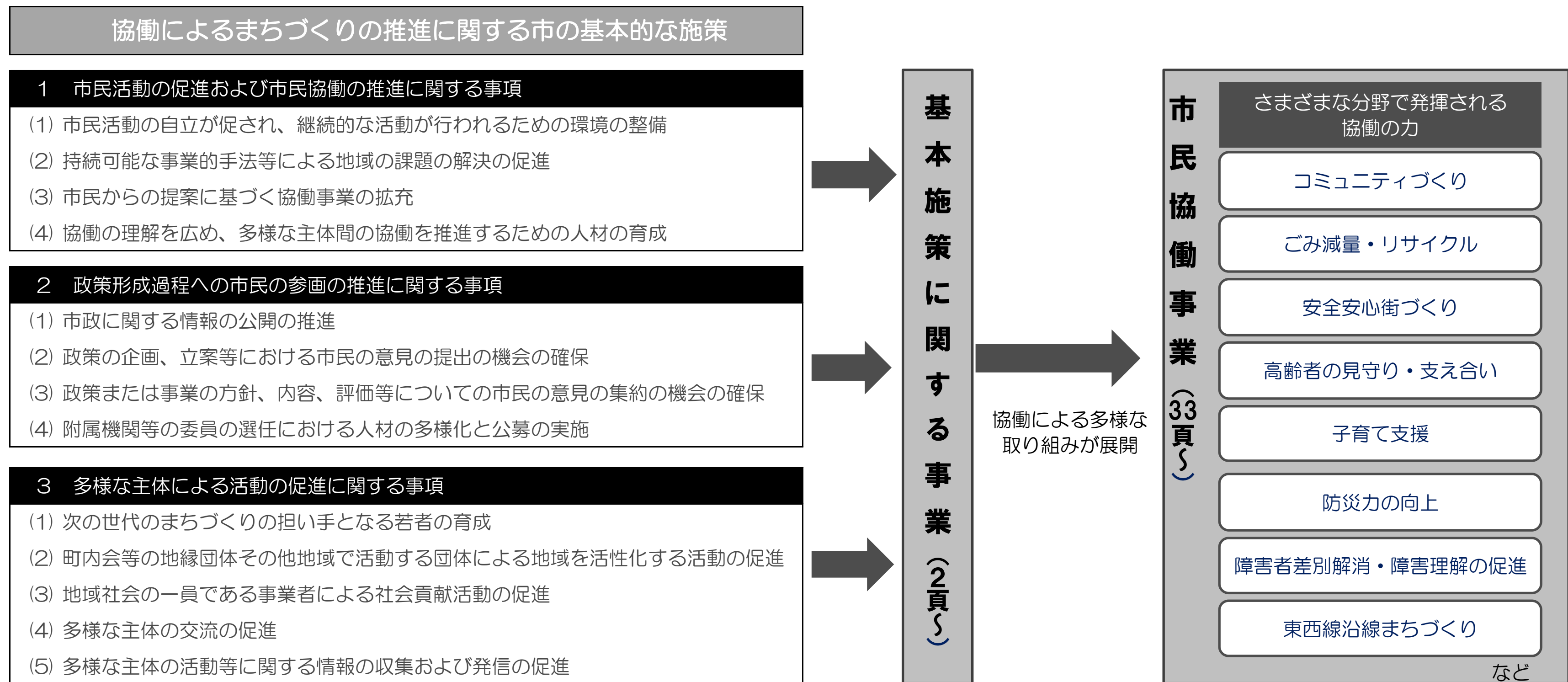
I はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」(以下「条例」という。)は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条[※]に基づき、平成30年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条…市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。

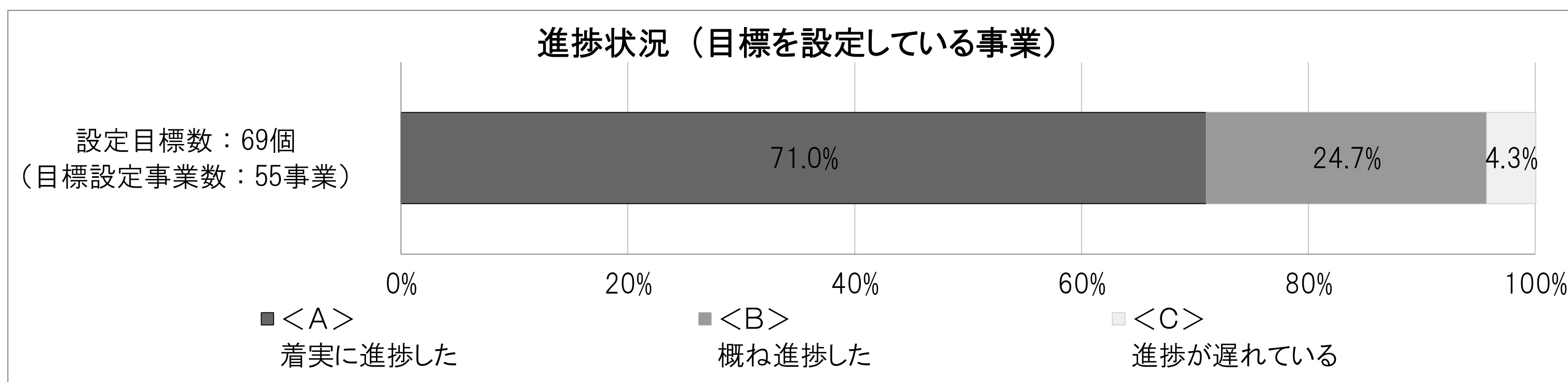


Ⅱ 基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】

基本施策に関する事業76事業のうち、平成30年度は55事業について計69個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。



- ・ 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
- ・ 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
- ・ 多様な主体による活動の促進に関する事項

	<A> 着実に進捗した	 概ね進捗した	<C> 進捗が遅れている
全体： 設定目標数69個（55事業）	49（71.0%）	17（24.7%）	3（4.3%）
分野1： 設定目標数17個（15事業）	16（94.1%）	1（5.9%）	0（0.0%）
分野2： 設定目標数10個（8事業）	5（50.0%）	5（50.0%）	0（0.0%）
分野3： 設定目標数42個（32事業）	28（66.7%）	11（26.2%）	3（7.1%）

基本施策に関する事業(平成30年度実績)

※特に記載のない場合は、平成31年3月31日時点の数値です。

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項					
各拠点施設において活動場所の提供や研修・相談を実施したほか、専門家の派遣による助言や情報提供を行うなど、市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。 また、地域団体や市民活動団体等からの提案に基づく市との協働事業や、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動に助成を行うなど、協働の取り組みを推進したほか、市民活動サポートセンターや市民センター等の事業を通して、協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材育成に取り組みました。					
(1) 市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備					
①	区役所のまちづくり拠点機能の強化	地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、地域団体への効果的な支援を実施できるよう組織的な体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。 さまざまな情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を生かし、地域団体間のネットワーク形成を図る。また、区役所の組織である区中央市民センターが所管区内地区市民センターの総合調整を図り、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。	平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他各区の地域特性に応じた事業等に取り組んだ。また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。 — 着実に取り組みを進めた。今後、ふるさと底力向上プロジェクトの進捗管理や振り返りを適切に行うとともに、区役所のまちづくり拠点機能のさらなる強化について関係部署と協議・検討を進める。	—	市民局 地域政策課 各区 総務課
②	市民活動サポートセンターにおける活動拠点確保等に関する支援・環境整備	市民活動サポートセンターにおいて、貸室やフリースペース等の活動拠点の提供、市民活動・協働に関する情報の収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう、支援や施設の環境整備を行い、協働によるまちづくりを推進する。	市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関誌の発行や市民活動・協働に関する展示の実施等の情報提供を行ったほか、相談対応の実施により、協働によるまちづくりの推進を図った。 利用者数：68,815人 (うち貸室利用者数：48,624人、 フリースペース利用者数：18,954人)	平成28年度～30年度の利用者数の年間平均を64,000人以上に増加させる。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。前年度に施設改修を実施し環境整備を図ったことから、特にフリースペース利用者が増加した。今後は、引き続き交流に関する相談やマッチング機能の充実など、ソフト面における機能充実に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
③	新たな助成制度の構築	多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数団体が連携し、まちづくりに取り組む事業へ助成する仕組みを新設する。	「協働まちづくり推進助成事業」の本格運用を開始し、4件の助成を行った。また、協働まちづくり情報交換&よろず相談会（平成30年度事業中間報告会）を開催し、制度の周知を行った。 助成件数：4件	平成28年度からモデル事業を実施し、検証を行っていく。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。今後、市民が事業申請に至るまでの段階を含めて支援し、まちづくりの担い手を拡大していく必要がある。	
④	男女共同参画推進センターにおける各種支援等	男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。	市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。 エル・パーク仙台利用者数（市民活動スペース）：55,218人 エル・ソーラ仙台利用者数（市民交流・図書資料スペース）：110,569人 フォーラム参加団体数：34団体	毎年度男女共同参画推進フォーラムを開催し、参加団体数を30団体以上とする。	市民局 男女共同参画課
			A	フォーラム参加団体数が目標値に達し、着実に進捗した。引き続き多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。	
⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数：35講座 延べボランティア育成講座受講者数：459人 ボランティア登録団体数：462団体	ボランティアセンターへの登録団体数を、平成30年度までに300団体以上とする。	健康福祉局 社会課
			A	着実に進捗した。ボランティアの広がりと活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。	
⑥	まちづくり支援専門家派遣事業	地域の活性化を図る活動やまちづくり計画案を作成する活動など、地域住民が主体となって活動を行う団体に対し、まちづくり支援の専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 派遣地区：15地区	平成28年度～30年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
			A	着実に進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑦	市民センターにおける地域づくり支援	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：15講座 受講者数：166人（新規：55人）</p> <p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、子どもたちが地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>子ども参画について、特色ある取り組みを行っている石巻市の事例をもとに職員研修を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：86人（新規：40人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者がフィールドワークを通して、地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：102人（新規：62人）</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：44.4%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。</p>	教育局 生涯学習支援センター
<p>A 着実に進捗した。今後も市民が主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。</p>					
<p>(2) 持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進</p>					
①	まちづくり人材育成と情報発信事業（WE SCHOOL）	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	<p>まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。</p> <p>受講者数：161人 講座数：19回 受講生が生み出したプロジェクト数：5件</p>	<p>平成28年度～30年度のWE SCHOOL受講者数を毎年度100人以上とする。また、平成28年度～30年度の受講生が生み出したプロジェクト数を毎年度20件以上とする。</p>	市民局 市民協働推進課 （市民プロジェクト推進担当）
<p>B プロジェクト数は目標に達しなかったが、受講者数は目標を上回っており、概ね進捗した。</p>					

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
②	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	起業支援センター「アシ☆スタ」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するセミナーを開催し、当該分野特有の起業知識の修得や起業事例に触れる機会を提供するほか、市民活動サポートセンターとも連携し、相談機能を充実させる。	<p>起業支援センター「アシ☆スタ」、起業支援施設「INTILAQ」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントの実施のほか、市民活動サポートセンターと連携し、「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「TOHOKU Social Innovation Accelerator」を実施し、12人の社会起業家を輩出した。</p> <p>トークイベントの実施 : 10回 (430人参加) 起業・創業なんでも相談DAY : 11回 (196人参加)</p>	<p>(平成28年度) ソーシャルビジネスセミナーの参加者を20人とする。 (平成29年度～) 実績やニーズをもとに事業内容を検討し、実施していく。</p>	市民局 市民協働推進課 経済局 産業振興課
			A 着実に進捗した。今後は、相談DAYにおいて開催日数を増やすなど、さらなる相談機会の提供に取り組む。		
③	ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり）	遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。	<p>8月から12月にかけて、都心部の3つのエリア（肴町公園周辺、大町、立町）を対象に、「せんだいリノベーションまちづくりスクール」を開催した。 また、スクール受講生による道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み（イベントの開催）の支援を行った。</p> <p>スクールの開催数：1回</p> <p>民間不動産対象物件数：0件 （平成28年度からの延べ対象件数：6件） 公共空間対象物件数 : 3件 （平成28年度からの延べ件数：10件）</p>	<p>リノベーションスクールにおける民間不動産の対象物件数を平成29年度末で5件以上に増加させる。 リノベーションスクールにおける公共空間の対象物件数を平成29年度末で2件以上に増加させる。</p> <p>※目標設定は平成29年度まで</p>	都市整備局 都心まちづくり課
			— 予定通り取り組みを進めた。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課	
			点検結果			
(3) 市民からの提案に基づく協働事業の拡充						
①	市民協働事業提案制度の充実	市民活動団体や地域団体、企業等の市内で活動する団体から地域の課題解決や魅力の向上に資する事業の提案を募集し、関係部局が協働で取り組む。	地域の課題解決や魅力向上に資する事業を募集・採択し、市民活動団体や企業等の提案団体と担当課が協働で事業に取り組んだ。 応募事業件数：5件 実施事業件数：4件	平成28年度～30年度の毎年度4件以上の協働事業を実施する。	市民局 市民協働推進課	
			A	目標を達成し、着実に進捗した。		
②	協働の手引き・事例集の作成	協働による事業を推進するため、協働の進め方や評価の方法などを含む協働の手引きや事例集を市民とともに作成する。	平成29年度に作成した手引き・事例集を、関係者への送付や公共施設および各種イベントにおける配布により周知した。また、平成30年度に運用を開始した協働ナビゲーションサイトにおいて、当該冊子の広報を行った。	平成29年度までに協働の手引き・事例集を市民参加により作成し、広く周知を図っていく。	市民局 市民協働推進課	
			A	着実に進捗した。		
(4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成						
①	ともにまちづくりを行える職員の育成	①市民協働に関する職員研修 職員の協働に関する理解を深めるため、その考え方や取り組み事例等を学ぶ基礎的な研修を実施する。	新規採用職員研修受講者数：240人 係長I部（総合・協働）受講者数：133人	新規採用職員（200人程度）に加え、平成28年度から、係長職昇任者（150人程度）に必修化する。	総務局 職員研修所	
					A	着実に進捗した。今後も、研修内容については関係部署等と協議・検討を進める。
		②地域づくり職員研修 地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施することにより、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指す。	新任まちづくり担当職員研修参加者数：23人 地域づくり担当職員研修参加者数：37人	平成28年度～30年度の研修参加者数を毎年度20人程度とする。	市民局 地域政策課	
			A	着実に進捗した。		
			③協働推進人材育成事業 職員の協働に対する意識やコーディネート能力などのスキルを高めることにより、庁内の協働推進を図る人材を育成するため、市民活動団体等へ職員を派遣する体験型事業を実施する。	市民活動団体等へ派遣された職員数：20人 受入団体数：16団体	平成28年度～30年度に毎年度20人程度派遣する。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
②	市民活動サポートセンターにおける人材育成	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動の基礎知識を学ぶ機会や市民活動を体験する機会を提供するほか、仙台市のまちづくりに関してともに考え意見を交わす機会を設けるなど、まちづくりに関わる人材の育成につなげる。	市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、講座やセミナー等を開催した。 講座・セミナー等の参加者数：367人	平成28年度～30年度の人材育成のための研修の延べ参加者数を、毎年度300人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	参加者数が目標を上回り、着実に進捗した。	
③	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を、（社福）仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。 CSWのスキルアップを図り、復興公営住宅整備地域における新たなコミュニティ形成や、市内各地における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を行う。	（社福）仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、市内各地における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。 CSW実践者研修会開催数：3回	CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。	健康福祉局 社会課
			A	着実に進捗した。CSWによる市内各地域への支援を一層推進するため、今後も引き続き関係機関や地域団体との連携を深めるとともに、スキルアップを図っていく。	
④	地域包括支援センター運営事業	地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う52※か所すべての地域包括支援センターの機能強化を図るため新たに配置した職員を中心に、地域のネットワークづくりを行いながら、地域での支え合い体制の充実を図る。 ※平成30年度に地域包括支援センターは2か所増設された。	介護予防自主グループの育成・支援に向けた研修の実施をはじめ、地域での支え合い体制の充実を図った。 介護予防自主グループ数：230団体	地域で自主的に介護予防に取り組む介護予防自主グループ数を平成30年度までに200グループ以上にする。	健康福祉局 地域包括ケア推進課
			A	着実に進捗した。	
⑤	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方（利用会員）と育児の援助を行う方（協力会員）が会員となっていく市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。 登録会員数 利用会員：2,867人 協力会員：484人 両方会員：122人 計 3,473人 サブリーダー：9人 活動回数：10,739回	—	子供未来局 総務課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑥	市民センターにおける地域づくり支援 【再掲】	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：15講座 受講者数：166人（新規：55人）</p> <p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、子どもたちが地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>子ども参画について、特色ある取り組みを行っている石巻市の事例をもとに職員研修を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：86人（新規：40人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者がフィールドワークを通して、地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：102人（新規：62人）</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：44.4%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A	着実に進捗した。今後も市民が主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		

2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項

市ホームページの充実やオープンデータの活用により、市政に関する情報公開を推進しました。
また、各種計画等策定過程におけるパブリックコメントや、施策目標に関する市民意識調査等の実施により、政策の企画・立案・評価等の各段階において、市民意見の提出・集約の機会の確保に取り組みました。

(1) 市政に関する情報の公開の推進

①	仙台市ホームページの充実	市民が市政情報を得られやすく、また、タイムリーでわかりやすい情報発信を進めるため、仙台市ホームページをリニューアルするとともに、効果的な広報を行うための職員向け研修を実施する。	平成28年10月のホームページリニューアル実施以降、情報発信の迅速化とウェブアクセシビリティの向上が図られた。 また、効果的な広報を行うため、これまでのCMS操作研修、ウェブアクセシビリティ研修に加え、分かりやすい文章の書き方研修、知的財産権研修を行った。 平成30年度ホームページ更新件数：20,549件	平成30年度までに、ホームページ更新件数を年間24,000件以上とする。	総務局 広報課
			B	ホームページ更新件数は前年度比で増加しており、プランで掲げた目標には届かなかったものの、概ね進捗した。今後も引き続きホームページの積極的な活用について、各種研修の場などで呼び掛けていく。	
②	オープンデータの活用推進	公共データを、誰もが自由に複製・加工でき、商用利用もできるルールで提供するオープンデータの取り組みについて、ホームページ上で既に公開している情報などを中心にさらなる拡充を進める。 また、オープンデータの利活用推進を図るため、アイデアソン [※] 等のイベントを開催していく。 ※アイデアソン…アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、特定のテーマについてアイデアを創出するイベント	市民GISにオープンデータ提供機能を搭載し、登録されている地理空間情報の一部をオープンデータとして公開。併せて、仙台市オープンデータカタログおよびG空間情報センターにて公開した。 仙台市オープンデータカタログ登録件数：226件(対前年比61件増)	—	まちづくり政策局 ICT推進課 (情報政策課)
			—	オープンデータカタログ登録件数は着実に増えている。今年度も引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。	
③	地域情報ファイルの活用推進	小学校区単位で、人口・地域施設・地域団体等の情報の充実、更新を行い、市のホームページ等で公表することにより、地域状況の把握と情報提供を行う。	「地域情報ファイル」を最新の情報に更新し、市のホームページ等で公表した。	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
(2) 政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保					
①	パブリックコメントの実施	基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する実施機関の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。	パブリックコメント実施件数：10件 (1件当たりの平均意見数：121件)	—	市民局 広聴統計課
			—	着実に取り組みを進めた。今後も広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。	
②	市政モニターによる意見募集	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：8回 平均回答率：92.7%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課
			A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	
③	市民の声制度	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙：1,090件 インターネット広聴：1,573件 要望・陳情書：1,519件 電話・来庁(市政相談)：878件 (一般相談)：3,341件	—	市民局 広聴統計課
			—	着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	
④	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。 ①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、障害者も含めた幅広い市民の参加を募り、グループワーク形式で意見交換を行う。	障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を実施した。 実施回数：6回 参加者数：102人	意見聴取の場として毎年度8回実施する。	健康福祉局 障害企画課
			B	実施回数が目標に達しなかったが、概ね進捗した。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、障害特性等に合わせ手話通訳・要約筆記・点字資料の提供など、障害者への適切な情報提供および障害者団体への意見聴取など、障害者からの意見聴取を推進していく。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。 新規採用職員研修 参加者数：248人 一般職員研修 参加者数：161人 管理職員研修 参加者数：85人 eラーニングによる全職員向け研修 参加人数：13,938人	毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。	
			A	着実に進捗した。eラーニング研修の実施継続を含め、研修の内容について引き続き検討していく。	
⑤	東部地域移転跡地利活用推進事業	東部地域の集団移転後の跡地について、「交流とチャレンジ」をテーマとした仙台の新たな魅力を創出する場を目指し、シンポジウムや市民フォーラムなど多くの市民とともに考える場を設け、平成28年度内に利活用方針をとりまとめ具体的な利活用へと繋げていく。	利活用方針に沿った事業の実現に取り組みながら、他の事業者や地元活動者などの多様な主体と連携したまちづくりを本市とともに進めていただける事業者の募集（2次募集）を10月に行った。応募のあった事業提案については、外部の専門家を含めた選定委員会による評価・選定結果をふまえ、平成31年3月に4地区において事業を行う5事業者を事業候補者として決定した。（内1事業者は1次募集の事業候補者が、事業区域拡大。）なお、9月に平成29年度実施した1次募集の落選者と調整を行い、1事業者を事業候補者として追加決定した。	—	都市整備局 復興まちづくり課
			—	着実に取り組みを進めた。今後は、他地区においても事業候補者を決定できるよう、引き続き取り組みを進めていく。	
(3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保					
①	施策目標に関する市民意識調査	基本構想に位置づけた都市像の実現や復興に向けたまちづくりに向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の重点施策の推進を図る。	18歳以上の市民6,000人を対象に実施した調査結果をまとめ、公表した。 有効回収数：2,029票 有効回収率：33.8% (送付数：6,000通)	有効回収数を2,000票、有効回収率を33%以上とする。	まちづくり政策局 政策企画課
			A	着実に進捗した。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課	
			点検結果			
②	市民まちづくり フォーラム	重要プロジェクトについて市民参画による評価・点検を行うため、実施計画に掲げる重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。	テーマ数：10テーマ 参加者数：62人	—	まちづくり政策局 政策企画課	
			—	予定通り取り組みを進めた。		
	③	市政モニターによる 意見募集 【再掲】	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：8回 平均回答率：92.7%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年 度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課
				A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	
	④	市民の声制度 【再掲】	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙 : 1,090件 インターネット広聴 : 1,573件 要望・陳情書 : 1,519件 電話・来庁（市政相談） : 878件 （一般相談） : 3,341件	—	市民局 広聴統計課
—				着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑤	市民との対話の機会 の確保	市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市民と市長の懇談会（市長とふれあいトーク）、市長と地域のつどい、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。	市長とふれあいトーク：7回 地域懇談会・動く区長室：39回 市政出前講座：102回	市長とふれあいトーク（年10 回程度開催）、地域懇談会、市 政出前講座などを実施するほ か、直接市民と対話・交流する 機会や場の確保に努める。	市民局 広聴統計課	
			B	市民と市長の懇談会は目標回数には至らなかったが、概ね進捗した。今後も多様な団体等との懇談を通して、活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努める。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑥	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	<p>施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。</p> <p>①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、障害者も含めた幅広い市民の参加を募り、グループワーク形式で意見交換を行う。</p>	<p>障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を実施した。</p> <p>実施回数：6回 参加者数：102人</p>	<p>意見聴取の場として毎年度8回実施する。</p>	健康福祉局 障害企画課
		<p>②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、障害特性等に合わせ手話通訳・要約筆記・点字資料の提供など、障害者への適切な情報提供および障害者団体への意見聴取など、障害者からの意見聴取を推進していく。</p>	<p>障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。</p> <p>新規採用職員研修 参加者数：248人 一般職員研修 参加者数：161人 管理職員研修 参加者数：85人 eラーニングによる全職員向け研修 参加人数：13,938人</p>	<p>毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。</p>	
			B	実施回数が目標に達しなかったが、概ね進捗した。	
			A	着実に進捗した。eラーニング研修の実施継続を含め、研修の内容について引き続き検討していく。	
(4) 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施					
①	附属機関等の委員の選任における人材の多様化	<p>附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。</p>	<p>情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。</p>	—	総務局 行政経営課 (行財政改革課)
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も長期および重複委嘱を避ける取り組みを継続する。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
②	附属機関等の委員の公募の推進	附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。	公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。 公募委員のいる附属機関等の数：11機関	—	総務局 行政経営課 (行財政改革課)
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も引き続き公募機関の増加に努める。	
③	附属機関等における女性委員の登用率の向上	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。	審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課へ事前協議を行うことを徹底し、女性の積極的な登用促進に努めた。 平成30年度末女性委員登用率：37.6%	すべての附属機関等に女性委員が就任している状態の維持に努める。また、女性委員の比率の向上に努める。(参考：令和2年度末までに40%以上)	市民局 男女共同参画課
			B	対前年度比で0.1ポイント上昇し、概ね進捗した。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		

3 多様な主体による活動の促進に関する事項

若者の社会参加を促進する事業の実施により、次の世代のまちづくりの担い手の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通して、町内会をはじめとした地域で活動する団体による地域活性化のための活動の促進を図りました。

また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を実施するとともに、市民活動サポートセンターなどにおける各種イベントを通して、多様な主体の交流促進を図りました。さらに、協働の事例や支援制度等、活動に役立つ情報を総合的に案内する協働ナビゲーションサイトの運用を新たに開始するなど、多様な主体の活動等に関する情報の収集・発信に取り組みました。

(1) 次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成

①	市民活動サポートセンターにおける若者の育成に関する支援・環境整備	市民活動サポートセンターにおいて、通信環境の整備やフリースペースの利便性向上など、若者の主体的な活動を促進する環境を整備するとともに、各関係機関と連携しながら若者の活動を支援することで、次世代のまちづくりの担い手を育成する。	若者を対象とした人材育成事業を関係機関とも連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供した。 関係機関と連携した実施事業：4事業	平成28年度～30年度の若者の人材育成に資する事業を、関係団体等と連携しながら、毎年度2事業以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	
②	若者の社会参加促進事業（仙台ミラソン）	将来の仙台のまちづくりの担い手となる人材の育成と、市職員の政策形成力の向上を目的として、学生を中心とした若者とIT関係者、市職員等が地域課題の解決策の企画・立案やフィールドワークを重ねる「仙台ミラソン」を実施する。	本市が提供した地域課題に関するテーマに対し、学生を中心とした若者による4チームが解決策の企画立案やフィールドワークを実施した。38名の若者が参加したほか、13名の市職員がテーマ提供課として参加した。 仙台ミラソン2018参加者数：51人	平成28年度～30年度の研修参加者を毎年度50人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	
③	まちづくり人材育成と情報発信事業（WE SCHOOL） 【再掲】	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。 受講者数：161人 講座数：19回 受講生が生み出したプロジェクト数：5件	平成28年度～30年度のWE SCHOOL受講者数を毎年度100人以上とする。また、平成28年度～30年度の受講生が生み出したプロジェクト数を毎年度20件以上とする。	市民局 市民協働推進課 （市民プロジェクト推進担当）
			B	プロジェクト数は目標に達しなかったが、受講者数は目標を上回っており、概ね進捗した。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課	
			点検結果			
④	大学連携地域づくり事業	①大学連携地域づくり事業 大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、大学と協定を結び連携協力活動を進める。	地域連携の情報収集と情報提供の一環として、学生と地域が連携した事業を実施するとともに、実施した事業をパネル展示等で広く区民に広報した。また、各大学が地域に入り、夏祭り等の地域イベントの企画・協力やステージへの参加を行った。 実施事業数：33事業（6大学） 泉区6大学まちづくりフェスティバル （大学の地域活動の発表およびワークショップ） 参加者数：約100人	地域と大学がイベント等の企画段階から連携する事業を、6大学がそれぞれ1事業以上実施する。	泉区 ふるさと支援担当 （まちづくり推進課）	
			A 着実に進捗した。			
		②大学・地域連携による課題解決事業助成 高齢化などの課題を抱える地域が、知見を有する大学と連携しながら課題解決や地域活性化に取り組むための経費を助成し、魅力的な地域づくりの推進を図る。	少子高齢化の地域課題に対して、5つの事業分科会を設置し、大学の知見や学生の力を活用しながら地域づくりに取り組んだ。 実施事業：加茂ハッピータウン活動 （加茂まちづくり協議会、東北学院大学）	1大学1地域で事業を実施する。		泉区 ふるさと支援担当
			A 着実に進捗した。			
③いずみ絆プロジェクト支援事業 地元6大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。	助成金交付事業数：11事業（6大学）	6大学がそれぞれ1事業以上実施する。	泉区 ふるさと支援担当 （まちづくり推進課）			
	A 着実に進捗した。					
	④まちづくり同盟助成事業 地域活動に関わる学生間の組織である「まちづくり同盟」の組織強化を図り、学生による地域連携のプラットフォーム機能を充実する。	核となる学生の不在や大学間の調整が困難となり、まちづくり同盟としての活動は実施できなかった。	まちづくり同盟の構成員として6大学から各2人以上参加する。			
		C まちづくり同盟は当面休止することとし、新たな地域活動にかかわる学生間の連携づくりに向けて、大学や関係者等と検討を進めていく。				

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑤	学校支援地域本部事業	市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに地域での豊かな体験活動の機会を提供する。	<p>中学校区内において学校支援地域本部設置校との連携を進める支部校や連携校、連携体制づくりに関する説明や情報提供、研修等での周知により、5本部の新設を含め、市内164校において学校支援地域本部と連携した活動を取り入れることとなった。リーフレットを12,550部増刷し、教職員、PTA、町内会長等地域の方々に配付し、広く啓発を図った。</p> <p>学校支援ボランティアの延べ人数 (平成30年度) 112,254人</p>	<p>学校支援ボランティアの延べ人数を次のとおりとする。 (平成28年度) 100,000人 (平成29年度) 105,000人 (平成30年度) 110,000人</p>	教育局 学びの連携推進室
			A 着実に進捗した。今後も支援内容の充実に取り組むとともに、カバー率を100%に近づける。		
⑥	市民センターにおける若者の支援	<p>①若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③ジュニアリーダー育成・支援 ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。</p>	<p>各区中央市民センターにおいて、フィールドワークを通して、受講者である若者が地域の活性化に向けた事業を企画・実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：102人（新規：62人）</p> <p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、子どもたちが地域の中で役割を持ったり、社会の構成員としてまちづくりに参加したりする取り組みとして、子ども参画型の講座を実施した。また、本事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>子ども参画について、特色ある取り組みを行っている石巻市の事例をもとに職員研修を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：86人（新規：40人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて初級研修会を生涯学習支援センターにおいて中級・上級・実践の各研修会を実施した。 初級研修会受講者：164人 中級研修会受講者：53人 上級研修会受講者：25人 実践研修会受講者：25人</p> <p>ジュニアリーダー登録者数：400人 (新規登録者数：108人) ①から③の総計での新規参加者の割合：35.7% ジュニアリーダー活動率：79.6%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A 着実に進捗した。今後も社会や地域で活躍できる人材の育成に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
(2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進					
①	地域防災リーダー養成・支援事業	仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成を進めるとともに、SBLのスキルアップや情報の共有、ネットワーク化の推進等を図るため、バックアップ講習等を実施し、自主防災活動の活性化を図っていく。	平成28年度以降は600人程度の人数を維持していく方針としてSBL養成講習会を実施している。 平成30年度は新たに102人をSBLとして認定した。 また、平成24年度～29年度に認定したSBLを対象としたバックアップ講習会を全市で7月に、区毎に10月～12月の期間で開催し、自主防災活動の活性化に向けたSBL相互の情報共有やスキルアップを図った。 平成24年度～30年度までの養成人数：792人	毎年度新規養成を図り、600人程度を維持していく。	危機管理室 減災推進課
			A	着実に進捗した。今後は女性や若い世代の積極的な養成、またSBL配置数の地域間バランスに配慮した養成に取り組む。	
②	区役所のまちづくり拠点機能の強化【再掲】	地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、地域団体への効果的な支援を実施できるよう組織的な体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。 さまざまな情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を生かし、地域団体間のネットワーク形成を図る。また、区役所の組織である区中央市民センターが所管区内地区市民センターの総合調整を図り、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。	平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他の各区の地域特性に応じた事業等に取り組んだ。また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。	—	市民局 地域政策課 各区 総務課
			—	着実に取り組みを進めた。今後、ふるさと底力向上プロジェクトの進捗管理や振り返りを適切に行うとともに、区役所のまちづくり拠点機能のさらなる強化について関係部署と協議・検討を進める。	
③	地域力創造支援事業の推進	市民センターのコーディネート機能を生かして、町内会をはじめとした地域団体等と協働・連携し、コミュニティ形成等をテーマとした地域課題の発掘と解決を図る。	コミュニティ形成等をテーマとし、地域課題の発掘と解決を図るため、平成30年度は10地区において実施した。なお、本事業については実施期間が3年に満たない地区において継続するものである。 実施地区：10地区	(平成28年度) 20地区で実施する。 (平成29年度) 30地区で実施する。 ※目標設定は平成29年度まで	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
④	町内会等住民自治組織育成事業	町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。 また、近年課題となっている、集合住宅における町内会形成の促進を図る。	町内会等育成奨励金等をはじめとした各種助成金等の交付や各区役所において町内会長等を対象とした研修、一定年数を務めた町内会長等に敬意と謝意を示すための市長表彰を実施したほか、マンションのコミュニティ形成を進めるためリーフレットやチラシ等による周知等を行った。 研修会実施回数：23回 町内会等育成奨励金交付世帯数：404,857世帯	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	
⑤	地域安全対策事業	①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付件数：78件	—	市民局 市民生活課
		—	予定通り取り組みを進めた。		
		②仙台市地域安全安心まちづくり事業 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付件数：14件	仙台市地域安全安心まちづくり事業補助件数について、毎年度20件程度補助する。	
—	B 目標には届かなかったが、概ね進捗した。今後も地域において自主的な防犯活動を行う団体に対し、制度の周知を図る。				
③	落書き消去支援事業 各区・総合支所の担当部署において、消去活動に取り組む個人・団体等に活動に必要な用具（消去剤、ウエス、バケツ等）の貸出を行う。	貸出件数：0件	—		
		—	貸出件数が0件であったため、今後、消去活動に取り組む団体等に対し、制度の周知を図る。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑥	交通安全事業	<p>①地域等と取り組む交通安全運動の実施 各区・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。</p> <p>②仙台市交通安全指導団体への支援 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。</p> <p>③PTAによる交通安全誘導活動への支援 市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。</p>	<p>町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。</p> <p>仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。</p> <p>補助金交付件数：8件</p> <p>仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校106校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。</p> <p>本市の年間交通事故死亡者数：13人</p>	<p>本市の年間交通事故死亡者数が、これまでの最小値※を下回るよう、関係機関・団体との協働による交通安全運動を積極的に推進する。 ※指定都市移行後の最小値（18人）</p>	市民局 自転車交通安全課
⑦	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	<p>高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を（社福）仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。</p>	<p>市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を（社福）仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。</p> <p>助成件数：104件 地域福祉活動従事者研修会開催数：年14回</p>	<p>地域福祉活動従事者への研修会を各区事務所において年2回以上開催する。</p>	健康福祉局 社会課
⑧	老人クラブ活動への支援	<p>助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支え合い活動の充実を図る。</p>	<p>老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金の交付を行ったほか、各区で1回ずつ、計5回研修を実施した。</p> <p>地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合：48.2%</p>	<p>毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を平成30年度までに40%以上に増加させる。</p>	健康福祉局 高齢企画課
			A 着実に進捗した。		
			A 着実に進捗した。今後とも市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。		
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑨	地域での子育て支援団体に対する活動支援	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。	<p>育児サークルおよび子育てサロン、託児ボランティア、さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。</p> <p>登録団体数：149団体 育児サークル、子育てサロン：112団体 託児ボランティア：6団体 さまざまな子育て支援団体：31団体</p>	毎年度の登録団体数160団体程度を維持していく。	子供未来局 総務課
			B 登録団体数が減少してはいるが、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。		
⑩	地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業	児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。	<p>助成金交付団体数 地域子育て支援クラブおよび同協議会：88団体 青少年健全育成団体：10団体</p>	—	子供未来局 子供相談支援センター
			— 予定通り取り組みを進めた。		
⑪	多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進	①地域でのごみ減量・リサイクル推進 クリーン仙台推進員によるごみ排出実態調査の実施や、町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携による、集積所等でのごみ減量・分別推進の啓発活動等を通じて、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。	<p>クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査 調査に参加した推進員数：693人 調査に参加した推進員以外の協力者数：771人 調査集積所数：1,326か所 ごみ減量調査啓発を実施した団体数：310団体 （調査に参加した町内会等の団体数）</p> <p>「WAKE UP!!仙台秋のごみ減量キャンペーン」 食品ロス削減に向けた取り組みを実施 ・モッタイナイマルシェ参加者：500人 ・食品ロスダイアリー市民モニター回答者：330人 ・食品ロス削減市民セミナー等参加者：290人 ・食エコリーダー養成：20人 ・生ごみ堆肥化モデル事業参加世帯数：20世帯</p> <p>WAKE UP!!CAMPUS事業（学生による学生向けのごみ分別を呼び掛けるプロジェクトチームによる啓発活動） 参加大学数：1大学14人</p> <p>環境施設を見る会 参加団体数：106団体</p> <p>ごみ分別出前講座の実施：74回</p>	平成30年度までに、町内会等と行政との協働によるごみ減量等啓発を実施する団体数300以上を目指す。	環境局 家庭ごみ減量課
			A 着実に進捗した。市民協働によるごみ減量PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
		②集団資源回収事業 資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。	集団資源回収実施団体には奨励金を交付し、広報物として「集団資源回収のてびき」、リーフレットを配布。 集団資源回収実施団体：1,319団体 （全町内会数に占める割合：95.2%）	集団資源回収実施団体の全町内会数に占める割合を90%以上とする。	
			A	着実に進捗した。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を行っていく。	
		③クリーン仙台推進員制度 ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員制度委嘱者：2,486人 （推薦町内会の割合：59.1%） 排出実態調査実施推進員数：693人 （参加推進員割合：27.9%）	平成30年度までに、クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合を60%以上、排出実態調査を実施するクリーン仙台推進員の割合を40%以上を目指す。	
			B	クリーン仙台推進員の推薦割合は概ね進捗した。一方で、排出実態調査に参加した推進員数は前年度より大幅に減少し、参加割合も低下した。次年度以降はさらなる調査への参加を呼び掛けていく。	
④ごみ集積所維持管理の支援 地域住民によるごみ集積所の清潔保持や環境美化の取り組みを支援するため、集積所の維持管理に関する助言や、啓発ポスターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。 また、町内会等の申請に基づき、市が集積所の管理状況等を診断し、排出状況等が優秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、適正排出・適正管理を促進する。	飛散防止用ネット配布数：1,746枚 五つ星集積所診断数：72か所 （うち五つ星集積所認定数：53か所）	—			
	—	予定通り取り組みを進めた。五つ星集積所の診断件数が、前年度を若干上回ったことから、令和元年度も地域への働き掛けを強めていく。			
⑫	市民連携農業推進事業（地域イベント支援）	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農産物の産直市、試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績：2件	毎年度の交付件数を2件程度とする。	経済局 農政企画課
A	着実に進捗した。				
⑬	スポーツ推進に係る支援事業	①仙台市スポーツ推進委員協議会 仙台市スポーツ推進委員により、本市が行う体育・スポーツ振興事業への参画および推進や地域スポーツ振興のための啓発や調査・研究、地域団体との連絡調整、地域住民へのスポーツ等の技術指導を行う。	仙台市スポーツ推進委員協議会が行うスポーツ振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	文化観光局 スポーツ振興課
			—	着実に取り組みを進めた。スポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興を図るため、引き続き同協議会への支援を行う。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] スポーツ推進に係る 支援事業	②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。 ③仙台市スポーツ協会※育成補助 種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市スポーツ協会に助成する。 ※平成30年4月に仙台市体育協会は仙台市スポーツ協会へ名称を変更した。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 — 着実に取り組みを進めた。地域スポーツ活動を通じた健康増進、地域づくりを進めるため、引き続き同連合会への支援を行う。	—	
⑭	まちづくり支援専門家派遣事業 【再掲】	地域の活性化を図る活動やまちづくり計画案を作成する活動など、地域住民が主体となって活動を行う団体に対し、まちづくり支援の専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 派遣地区：15地区 A 着実に進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。	平成28年度～30年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
⑮	まち再生・まち育て活動支援事業	今後の都市の持続ある発展を担う、地域主体のまちづくりを推進するため、まちの再生やまちを育てるエリアマネジメント等の活動を継続的に支援する。また、行政と地域が連携してエリアマネジメントに取り組んでいくための仕組みづくりを行うとともに、他地域において同様の取り組みを展開していくための課題の整理を進める。	平成29年度に取り組んだ荒井駅前広場をモデルケースとした公共空間利活用の可能性検討において、広告事業が最も実現性のある収益事業とされた。平成30年度においてはこの検討をもとに、（一社）荒井タウンマネジメントが主体となり、同広場において民間まちづくり促進事業を活用した約1か月間の広告事業社会実験を実施し、当課はその実現に向けた支援を行った。 本実験においては同広場における広告事業の実施に向けた具体的な検討を行うとともに、他地域における同様の広告事業の水平展開に活用できる行政手続き等のマニュアルを作成した。 — 予定通り取り組みを進めた。今後は地元まちづくり団体の新たな取り組みに対し、平成29年度および平成30年度の検討を踏まえて具体的な課題整理や関係部署との協議・調整を進めていく。	—	都市整備局 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課 都心まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑩	各種緑化支援事業	<p>①花壇づくり助成事業 地域の公有地（学校除く）に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を助成する。</p> <p>②花いっぱいまちづくり助成事業 道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する事業を行う商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を助成する。</p> <p>③緑化木植栽助成事業 緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。</p>	<p>各種緑化支援事業などを通し、民有地緑化を推進した。</p> <p>①～③の助成による花壇等面積：19,318㎡ 花壇づくり助成件数：278件(18,540㎡) 花いっぱいまちづくり助成件数：7件 緑化木植栽助成件数：7件(778㎡)</p>	<p>①～③の助成による花壇等面積を毎年度19,000㎡以上とする。</p>	建設局 百年の杜推進課
		A	着実に進捗した。		
⑪	市民参加によるみどりのまちづくり事業	<p>①緑の活動団体 本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を、「緑の活動団体」として認定し、希望する団体には活動助成金の交付を行う。</p>	<p>認定団体数：24団体 助成件数：6件 交流会参加率：60%</p>	<p>団体相互の情報交換や共有を図る交流会への参加率を60%以上とする。</p>	建設局 百年の杜推進課
		A	着実に進捗した。		
		<p>②公園愛護協力会 公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協力会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。</p>	<p>各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰・推薦を行った。</p> <p>新規結成：16団体</p>	<p>新規結成を毎年度15団体以上とする。</p>	建設局 公園課
		A	着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑱	区民協働まちづくり事業	<p>市民と行政との協働により、地域特性に応じたきめ細かな地域づくりを推進する。</p> <p>①企画事業 市民の創造性と意欲を最大限に生かし、地域課題の解決、地域の活性化および特色ある地域づくりを推進する。 事業実施後においては、評価を適切に行いながら、事業の一層の充実や見直しを図っていく。</p> <p>～各区の主な企画事業～ (青葉区) 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業 回文の里づくり事業 (宮城野区) 地域はっぴい子育て支援事業 すずむしの里づくり事業 (若林区) 六・七郷堀サポーターズ 合唱のつどい (太白区) ディスカバーたいはく 秋保ミュージアム環境整備支援事業 (泉区) 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル 七北田川クリーン運動</p>	<p>企画事業数</p> <p>青葉区： 11事業 宮城野区： 9事業 若林区： 14事業 太白区： 13事業 泉区： 15事業</p>	—	各区まちづくり推進課、ふるさと支援担当 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課、ふるさと支援担当
		— 予定通り取り組みを進めた。			
		<p>②まちづくり活動助成事業 市民の自らの創意工夫による自主的・自発的な区内の課題解決、地域コミュニティの活性化、地域や区の魅力を高める活動に対し、活動費の一部を助成する。助成を通じて、自主的・自発的なまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した活動へと発展するよう支援していく。</p>	<p>助成件数</p> <p>青葉区： 8件 宮城野区： 7件 若林区： 3件 太白区： 6件 泉区： 3件</p>	—	
			— 予定通り取り組みを進めた。		
⑲	婦人防火クラブ活動支援事業	<p>婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。</p>	<p>火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練や研修会を実施した。 街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を実施した。</p> <p>延べ活動回数：431回</p>	<p>地域における火災予防を推進するため、婦人防火クラブの活動を支援する。(婦人防火クラブ活動回数：年間500回程度)</p>	消防局 予防課
			B 目標より若干下回ったが、概ね進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
⑳	PTA活動振興事業	学校・家庭・地域社会が連携し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に取り組むことを目的として、PTA活動を支援する。	PTA指導者研修会やPTAフェスティバル等の開催を通し、PTA活動推進者育成やPTA活動の支援を行った。 「PTA活動振興」や夏季休業期間中の「学校プール開放事業」に係る補助金の交付を行った。 共催事業件数：6件	仙台市PTA協議会との共催事業を毎年度3件以上実施する。	教育局 生涯学習課
			A 着実に進捗した。今後、PTA活動の意義をより広めていくことが重要である。		
㉑	学びのコミュニティづくり推進事業	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。 委託団体：5団体（新規3団体）	平成28年度～30年度の委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
			B 委託団体は5団体であったが、新規団体が昨年度比3倍となり、概ね進捗した。学校を取り巻く環境の変化により、昨年度より委託団体数が減となったことから、広報等を工夫し委託団体増に努める。		
(3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進					
㉒	市民活動サポートセンターにおける事業者の社会貢献活動促進に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、事業者の社会貢献活動事例の紹介や市民活動団体等に関する情報提供、他の主体との意見交換の場の創出など、事業者による社会貢献活動を促進させるための支援を行う。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会を創出する「マチノワ企画」として「マチノワ縁日」を実施した。その中で企業の社会貢献活動を紹介するブース（4社）を設置した。また、「協働の現場トーク！」で企業とNPOの協働事例を1件紹介した。 マチノワ縁日 参加者数：452人 機関誌「ぱれっと」において、事業者による社会貢献活動や協働事例を紹介した。 掲載件数：9件	事業者が他の主体と交流・意見交換等ができる場となる事業を、平成28年度から新たに実施していく。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
②	地元企業等の環境活動の促進	①環境配慮型店舗・事業所認定制度 買い物袋（レジ袋）の削減や再生紙利用、ごみ分別等、環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進に積極的に取り組んでいる店舗・事業所を「エコにこショップ・オフィス」として認定し、その取り組みを周知する。	認定制度の店舗や事業所の区分を廃止し、対象範囲を市内で事業活動を行うすべての事業者に拡大するとともに、その取り組み内容に応じて「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の2段階の認定を行う「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）認定制度」に発展させた。また、認定事業者の一覧をウェブサイトに公表するとともに、その取り組み内容を紹介する事例集を作成・配布するなどの情報発信を行った。 環境配慮事業者認定制度の認定店舗・事業所等の数：442	環境配慮型店舗・事業所認定制度の認定店舗・事業所数を400以上とする。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを、ウェブサイト等で定期的に情報発信する。	環境局 廃棄物企画課
		②アメニティ・せんだい推進協議会 市民活動団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。	「エコフェスタ2018」を開催した。 来場者数：10,000人 3R講師派遣事業実施回数：22回 「3Rわかる本2019」発行：21,000部	アメニティ・せんだい推進協議会事業におけるエコフェスタ開催での来場者数を10,000人以上、3R講師派遣の実施回数を25回以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
		③仙台まち美化サポートプログラム 市民活動団体や事業者、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。	登録団体数：250団体	まち美化サポートプログラム登録団体数を240団体以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
③	地元企業の地域活性化活動等の促進	仙台中小企業活性化条例に掲げる、「従業員の仕事と生活の調和」「地域社会の発展」および「市民生活の向上」に努め、他の中小企業の模範となる市内中小企業を表彰することにより、表彰企業の認知度や従業員のモチベーションを高めるとともに、他中小企業の取り組みへの波及を図る。	仙台「四方よし」企業大賞の実施 有効応募数：13件	毎年度15社以上の有効応募数を確保する。	経済局 経済企画課
			応募数は目標に届かなかったが、一定の応募数があり概ね進捗した。昨年度より新たに普及啓発イベント開催や受賞メ리트の打ち出し強化に取り組んでおり、今後、より一層の情報発信を図る。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
④	協力事業所表示制度	①消防団協力事業所表示制度 従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、災害対応や訓練参加へのさらなる配慮など、企業の社会貢献により消防団員が活動しやすい環境を促進する。	認定事業所数：80事業所 増減数：-3事業所	毎年度7事業所程度増加させる。	消防局 総務課
		②応急手当協力事業所表示制度（杜の都ハートエイド） 自動体外式除細動器（AED）を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。	登録施設数：1,191事業所 民間施設および市有施設新規登録数：117事業所	毎年度50事業所程度増加させる。	
			C 新規に5事業所認定したが、消防団員の高齢化等による定年退団者が多く、当該制度の要件を満たさない事業所が増加しており、進捗が遅れている。今後、さらなる制度の広報に努める必要がある。		
			A 目標を上回り、着実に進捗した。		
（4）多様な主体の交流の促進					
①	仙台防災未来フォーラム	平成27年3月の国連防災世界会議を通じて培った国内外とのネットワークを生かし、地域団体、NPO、企業、大学などのマルチステークホルダーによる防災・減災、復興の取り組みの発信や共有などを目的とした市民参加型のシンポジウムを開催する。	平成31年3月10日、仙台国際センター展示棟で、「仙台防災未来フォーラム2019」を開催。地域の防災まちづくり、「仙台防災枠組」の学習成果発表、女性や障害者の参画などの多様なテーマで、具体的な取り組みの発表や議論を行った。また、小中学生、高校生、大学生によるプレゼンテーションや展示など、若い世代が活動や経験の発表を行ったほか、ステージショーや体験型イベントなど、市民に防災を身近に感じていただくプログラムを実施したことにより、幅広い世代・さまざまな分野から来場いただいた。 延べ来場者数：3,500人	延べ来場者数を次のとおりとする。 （平成28年度）2,200人 （平成29年度）2,400人 （平成30年度）2,600人	まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室
			A 着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」および「世界防災フォーラム」の開催に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課	
			点検結果			
②	市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進のための支援・環境整備	多様な主体の交流が促進され、新たな課題に対して創意工夫により解決策を生み出し続ける「創発」によるまちづくりが推進されるよう、市民活動サポートセンターにおいて、多様な主体が集まり、意見を交わし、交流を深める機会を提供するとともに、施設の環境整備に取り組む。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会を創出する企画として「マチノワ縁日」を実施した。また、社会課題に関する対話を通して、多様な主体が共通の課題を認識し、連携やネットワークづくり、協働の必要性を認識する「対話のワークショップ」を、各団体との共催事業として実施した。	平成28年度～30年度の多様な主体の交流促進を目的としたプログラムの延べ参加者数を、毎年度100人以上とする。	市民局 市民協働推進課	
			参加者数：マチノワ縁日 452人 対話のワークショップ（7回） 123人			
③	文化活動団体への支援による交流促進	<p>新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、（公財）仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。</p> <p>①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。</p> <p>②イベント等の制作面での協力を行う。</p> <p>③季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。</p>	市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成した。 助成件数：117件	文化活動団体に対し、毎年度150件程度助成を行う。	文化観光局 文化振興課	
			B	目標件数より少なかったが、概ね進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。		
			A	イベント等の制作面での協力を行った。 協力件数：91件		毎年度50件程度、文化活動団体との協力事業を実施する。
			A	着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。		
			—	季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行った。 支援件数：183件		—
			—	昨年度よりも件数が増加した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
			点検結果		
④	区民まつり	<p>地域や世代を超えた交流によるコミュニティの活性化および区民のふるさと意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働によるまつりを実施する。実施にあたっては、多くの市民が関わることができるような事業環境を構築するなど、より一層のまつりの魅力の創出を図る。</p> <p>～ 各区・総合支所のまつり ～ (青葉区) 青葉区民まつり (宮城総合支所) 宮城地区まつり (宮城野区) みやぎの・まつり (若林区) 若林区民ふるさとまつり (太白区) 太白区民まつり (秋保総合支所) まつりだ秋保 (泉区) 泉区民ふるさとまつり</p>	<p>開催日 青葉区民まつり： 11月 3日 宮城地区まつり： 10月28日 みやぎの・まつり： 10月21日 若林区民ふるさとまつり： 10月21日 太白区民まつり： 10月21日 まつりだ秋保： 10月28日 泉区民ふるさとまつり： 8月25日</p>	—	各区まちづくり推進課 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課
⑤	学びのコミュニティづくり推進事業【再掲】	<p>地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。</p>	<p>主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。</p> <p>委託団体：5団体（新規3団体）</p>	平成28年度～30年度の委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
			B	委託団体は5団体であったが、新規団体が昨年度比3倍となり、概ね進捗した。学校を取り巻く環境の変化により、昨年度より委託団体数が減となったことから、広報等を工夫し委託団体増に努める。	
(5) 多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進					
①	まちづくり活動事例集の作成	<p>町内会等のまちづくり活動に関する事例を紹介する活動事例集を、内容の充実を図りながら毎年度作成し、地域づくりに関する情報提供を行う。</p>	<p>町内会等のまちづくり活動に関する事例集「おらほ！のまちづくり」第9号を発行した。</p>	—	市民局 地域政策課
②	市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援・環境整備	<p>市民活動サポートセンターにおいて、市民活動・協働に関する情報収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行うとともに、情報収集・提供の充実を図るための施設の環境整備に取り組む。</p>	<p>市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供等により、市民活動の支援を行った。</p> <p>ホームページアクセス数：32,639件 ブログ投稿数：302件</p>	平成28年度～30年度の市民活動サポートセンターのホームページのアクセス件数を、毎年度33,000件以上とする。	市民局 市民協働推進課
			B	概ね進捗した。より分かりやすい情報を提供していく必要がある。	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 平成30年度担当課
			点検結果		
③	みやぎNPOナビ等の活用促進	<p>「みやぎNPOナビ」※を活用した市民活動団体の情報発信機会の充実を図るほか、本市ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNPO法人の情報公開を行う。</p> <p>※みやぎNPOナビ…宮城県内の市民活動団体の情報を一元的に検索できるポータルサイト。県内の自治体や中間支援組織10団体からなる「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」で運営。</p>	<p>「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」において「みやぎNPOナビ」の周知のための広報に取り組んだほか、本市独自の取り組みとして、所管NPO法人に広報チラシを送付し、登録の呼びかけを行った。</p> <p>また、本市ホームページや内閣府ポータルサイトを活用し、所管NPO法人の情報公開を迅速に行った。</p> <p>みやぎNPOナビに登録している仙台市の団体（仙台市に主たる事務所がある団体）の増加数 平成30年度：6団体 （平成28年度～30年度の増加数計：13団体）</p>	<p>平成28年度～30年度において、みやぎNPOナビに登録する仙台市の団体（仙台市に主たる事務所がある団体）の増加数を100以上とする。</p>	市民局 市民協働推進課
			<p>C 目標に沿う水準に達していないため、一層の周知を図る。</p>		
④	協働の手引き・事例集の作成【再掲】	<p>協働による事業を推進するため、協働の進め方や評価の方法などを含む協働の手引きや事例集を市民とともに作成する。</p>	<p>平成29年度に作成した手引き・事例集を、関係者への送付や公共施設および各種イベントにおける配布により周知した。また、平成30年度に運用を開始した協働ナビゲーションサイトにおいて、当該冊子の広報を行った。</p>	<p>平成29年度までに協働の手引き・事例集を市民参加により作成し、広く周知を図っていく。</p>	市民局 市民協働推進課
			<p>A 着実に進捗した。</p>		
⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等【再掲】	<p>市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。</p>	<p>地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。</p> <p>ボランティア育成講座数：35講座 延べボランティア育成講座受講者数：459人 ボランティア登録団体数：462団体</p>	<p>ボランティアセンターへの登録団体数を、平成30年度までに300団体以上とする。</p>	健康福祉局 社会課
			<p>A 着実に進捗した。ボランティアの広がりや活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。</p>		

Ⅲ 市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

市民協働事業

次の2つの要件を満たす事業

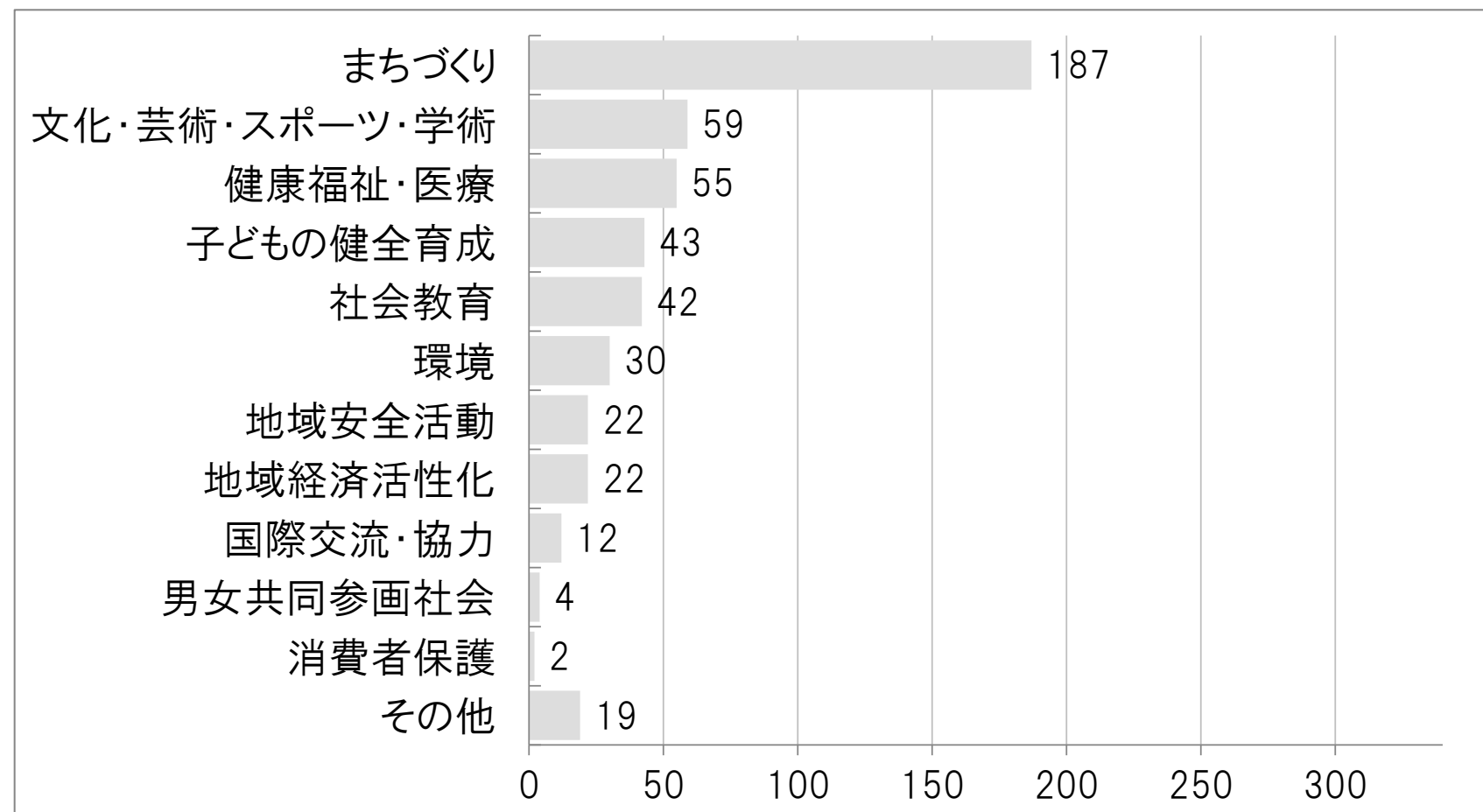
- ① 市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業等と、互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること
- ② 営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

市民協働事業の総数 335事業

「事業分野」・・・ 事業の分野は、「まちづくり」が187事業(55.8%)であり、次いで「文化・芸術・スポーツ・学術」が59事業(17.6%)、「健康福祉・医療」が55事業(16.4%)と続きます。

「協働の相手方」・・・ 協働の相手方は、「市民活動団体」が184事業(54.9%)であり、次いで「地域団体」が148事業(44.2%)、「教育機関等」が77事業(23.0%)と続きます。

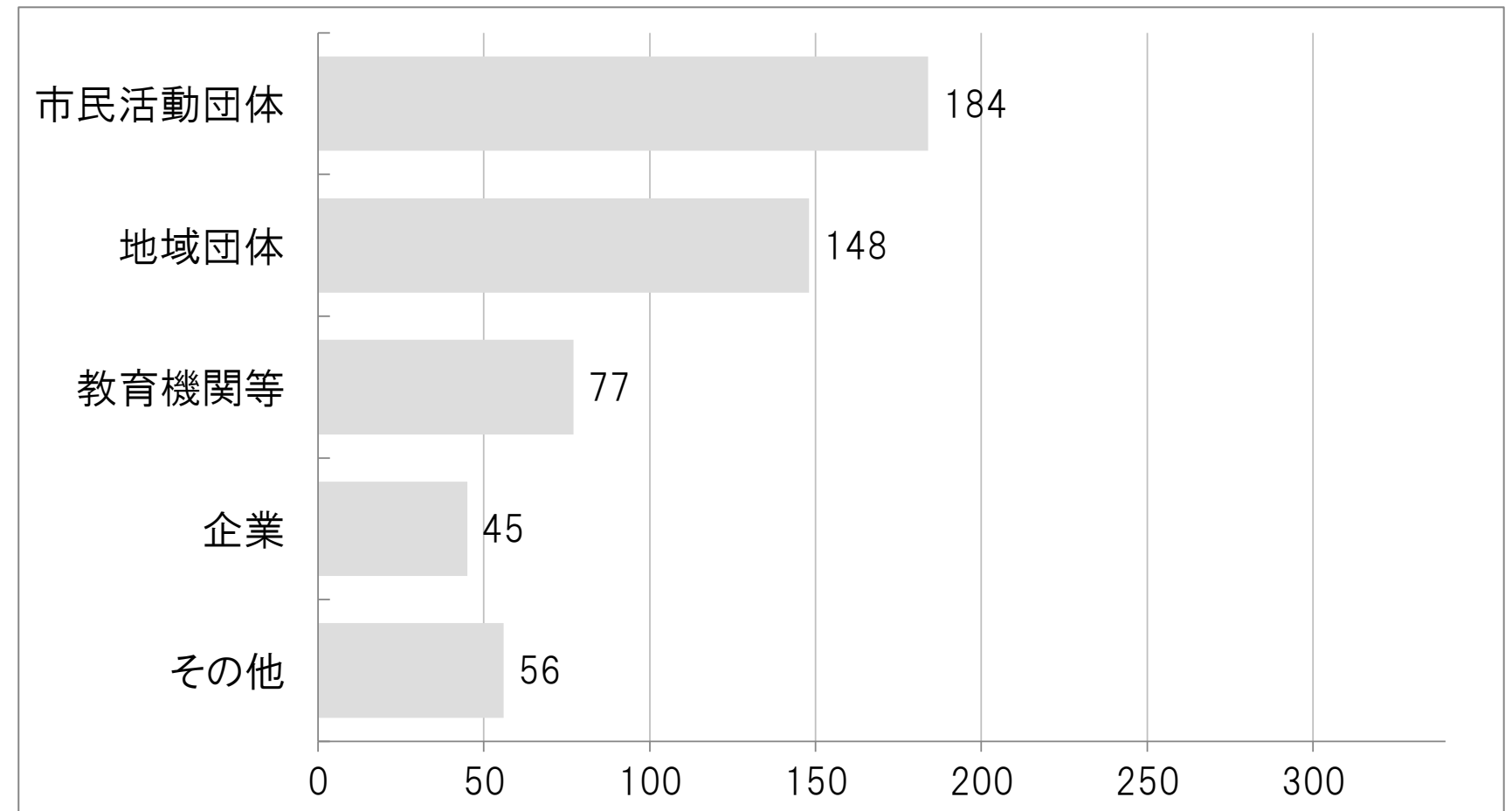
事業分野



※複数の分野に該当する事業があります

(単位：事業)

協働の相手方



※協働の相手方が複数に該当する事業があります

(単位：事業)

地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るため、活動の支援や団体との協働の取り組みを引き続き進めるとともに、新総合計画策定や市役所本庁舎建替事業等各種施策について、市民とともに考える場づくりを進めました。

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
1	民間企業と連携した災害時における支援体制整備	災害時に不足することが見込まれる資源を充足するため、民間企業や関係団体と応援協定を締結し、災害時における支援体制を構築する。	企業や各種団体等との協定締結:206件 (うち、10件を平成30年度に締結)	健康福祉・医療, 地域安全活動, その他	企業、各種団体等	—	危機管理室防災計画課、各協定所管課
2	広報紙等配布謝礼金	「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。	謝礼金交付実績: 1,417件	その他	市政だより等の配布を行っている団体	75,028	総務局広報課、健康福祉局健康政策課、各区総務課、議会事務局調査課
3	みんなのせんだい未来づくり	新総合計画の策定に向け、「仙台の未来」「未来に向けてできること」を市民で話し合い、想いを共有することにより、市民がイメージする「未来の都市像」を把握し、審議会における議論に活用するとともに、計画策定過程への市民参画に向けた機運醸成を図る。	参加者数:118人(17歳~83歳)	まちづくり	市民の参加者	2,695	まちづくり政策局政策企画課
4	区民参画イベント	新総合計画での区別計画策定に向け、区ごとに区民参画イベントを開催し、幅広く意見を収集し意識醸成を図るとともに、今後の区別計画策定の参考とする。	参加者数: 青葉区 39人 宮城野区 26人 若林区 93人 太白区 61人 泉区 67人	まちづくり	市民の参加者	2,413	まちづくり政策局政策企画課
5	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【鶴が丘「支え合い」コミュニティ・まちチャレンジ事業】 高齢者向けの支え合い活動、地域花壇づくり等による環境活動、子供の学習支援等による多世代交流活動、空き家荒廃を防ぐ環境づくりを実施する。	地域の高齢者を対象に病院への付き添い等の互助活動や、小学生が対象の放課後学習教室、高齢者と子供の多世代交流イベントを開催したほか、地域の空き家・空き地データベースの作成を実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	鶴が丘一丁目町内会、鶴が丘はあとネット	3,875	まちづくり政策局プロジェクト推進課
6		【地域の高齢化を高齢者同士の助け合いで克服する仕組みづくり】 交流カフェによるみんなの居場所づくり、高齢者向けの助け合い活動、見守り安否確認、健康体操会等による健康推進活動を実施する。	地域の高齢者を対象に、居場所づくりとしての交流カフェの運営や、庭の手入れやごみ出し等の助け合い活動、ストレッチ体操等の体操会を実施した。	健康福祉・医療, まちづくり	結いの会・高森東	967	
7		【中山多世代交流センター設置事業】 多世代交流センターにおける各種教室や食堂による子供から高齢者まで地域の多様な世代が集えるコミュニティの場づくりを実施する。	多世代交流センターを拠点に、センター内の食堂と連携して、合唱等のワークショップ、歴史等をテーマとした各種講座を実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人中山街づくりセンター、なかやま商店街振興組合	5,827	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
8		【大倉ふるさと農園整備地域活性化事業】 遊休農地を活用した市民農園の拡充による交流人口の拡大を実施する。	市民農園の拡充区画の整備を進めるとともに、地域外の方との交流イベントや提供メニューの検討等、開園に向けた準備を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	大倉栗生町内会	2,921	
9		【泉区西部地区の「泉かむりの里観光」推進事業】 軽トラ市による交流人口の拡大、特産品の開発による地域産業の創出、農業体験を組み込んだサイクリングツアーによる地域交流の促進を実施する。	軽トラ市における地元農家による産直物等の販売や、地元の原材料を使用したゴーフレットの製造・販売、主に外国人観光者を対象とした体験型サイクリングツアーを実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	泉かむりの里観光協会	2,046	
10		【仙台秋保地区・地域資源を活かした観光モデル構築のための拠点整備事業】 古民家改修による観光交流拠点施設を起点とした地域内外の連携体制の強化、飲食・サイクリング等の提供による交流人口の拡大、地元食材等による地域独自産業の創出を実施する。	改修した古民家を拠点に、地元食材を使用した秋保の食のブランドづくりを目的としたワークショップや、コミュニティスペースの展開、秋保地区の名所等を巡るサイクリングツアーを実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	株式会社アキウツーリズムファクトリー、 秋保温泉旅館組合	5,295	
11		【境野地区魅力ある地域づくり事業】 直販施設等交流拠点による交流人口の拡大、里山や散策・探訪ルートの整備による地域資源の発掘、希少生物等の地域資源活用による魅力アップ創出を実施する。	地元農作物等を販売する産直市の拡充に向けた調査検討、里山や散策・探訪ルートの試験整備、希少生物の生態調査を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	さかいの地区創生会	1,060	
12	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。	・会議の開催：9回(全体会・幹事会・ワーキンググループ) ・定禅寺通ナイトウォーク(フィールドワーク)の開催：1回 ・ニュースレターの発行：4回	まちづくり	定禅寺通活性化検討会、仙台商工会議所	17,785	まちづくり政策局定禅寺通活性化室
13	仙台市役所本庁舎建替事業に係る 仙台ラウンドテーブル	仙台市役所本庁舎の建て替えに向け、市役所のあり方、これからの仙台を担う仕組み、まちづくりなどのテーマについて、建築の専門家をはじめ、まちづくりや経済界など、さまざまな分野で活躍する市民が一堂に会して意見交換を行う、「仙台ラウンドテーブル」を開催し、地元の建築系専門家と協働して考える場を設ける。	市民と専門家による市役所本庁舎建替えシンポジウムの開催：2回	まちづくり	一般社団法人宮城県建築士会、一般社団法人宮城県建築士事務所協会、公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会	1,468	財政局本庁舎建替準備室

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
14	地域力創造支援事業	【片平公園活性化プロジェクト～地域の宝 みんなの片平公園！～】 (片平市民センター) 地域資源である片平公園を活用して、関係団体が連携協働することで、組織的かつ継続的に地域資源の環境美化や利活用が行われるよう図る。 公園の定期的な清掃活動に加え、まちづくりに関連したフォーラムやイベントを開催することで、幅広い世代が地域への関心を高め、コミュニティの活性化やその先にある地域力の向上につなげる。	公園の清掃や花壇整備といった定期的な活動に加え、地域資源の今後の在り方について、住民が主体的にかかわるような公園の利活用を考えるフォーラムを開催した。	まちづくり	片平地区まちづくり会、片平子どもまちづくり隊、片平公園お花の会、片平丁小学校、宮城県工業高等学校、東北福祉大学ボランティアサークル「おいまわしセツルメント」、東北大学まちづくり研究会、特定非営利活動法人都市デザインワークス	300	市民局地域政策課
15		【人が地域を創る 折立素敵物語】 (折立市民センター) 折立地区の今と昔が比較できる立体地形模型を用いて、地域住民が折立の歴史や地域の要所等に触れることで、地域を知り、現在抱える課題について語り合う交流の機運を醸成する。	平成29年度に製作した地域模型を用いて、折立地区の歴史や地域の要所について学べる出前授業を小学校等で開催した。	まちづくり	折立学区町内会連合会、折立地区社会福祉協議会等	171	
16		【“ゆうゆうの森”プロジェクト】 (宮城西市民センター) 上愛子小学校の自然体験学習林“ゆうゆうの森”と、里山「白沢五山」の整備を町内会とPTA等で行い、イベントを開催することで、互いに顔の見える関係を構築のうえ、地域づくりに主体的に参画する町内会の担い手の発掘・育成を図る。	季節ごとにイベントを開催することで関係団体の連携が強化されたことに伴い、次の町内会を担う人材の発掘に成功した。	まちづくり	上愛子学区連合町内会、上愛子小学校、上愛子小学校PTAお父さん委員会等	300	
17		【榴岡地区エキサイティング事業～ネットワークをいかしたまちづくり～】 (榴ヶ岡市民センター) 平成28年度より開催している「榴岡寺子屋」をはじめとするイベントを通じて、地域や地域の抱える課題に対して主体的にかかわっていく人材の発掘、育成を図る。	テーマ別の榴岡寺子屋を3回(福祉編、防災編、歴史編)、まちあるきと花見のイベントをそれぞれ1回ずつ実施した。	まちづくり	榴岡地区町内会連合会、榴岡地区民生委員児童委員協議会等	222	
18		【わたしのまち七郷】 (七郷市民センター) 自身が暮らすまちへの理解を深め、よりよい地域づくりへの意識を高めるため、七郷の名所や町内会等の地域活動の変遷をまとめた小冊子を作成する。	七郷というまちの変遷についてまとめた小冊子を発行した。	まちづくり	七郷地区町内会連合会、七郷小学校社会学級等	300	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
19		【「みんなの荒町公園」活性化事業】 (荒町市民センター) 地域の中心部にある荒町公園を活用した環境整備活動や季節に応じたイベントを実施することで、地域の魅力の再発見や、地域コミュニティの再構築等、公園を核とした地域全体の活性化を図る。	「落ち葉集めと焼き芋の会」をはじめとする、さまざまな世代が集まりコミュニケーションをとれるようなイベントを9回開催した。	まちづくり	荒町地区連合町内会、 荒町公園愛護協力会、 荒町地区老人クラブ連合会等	141	
20		【ホタルの里・坪沼プロジェクト】 (生出市民センター) 自生のホタルが見られるという地域特性を生かし、さまざまな地域団体が連携して環境保護活動を実施することで、坪沼地域内外の交流の促進を図る。	実行委員会を6回開催したほか、蛍生息地整備作業や蛍観察会を実施した。	まちづくり	坪沼北町内会、 中沖町内会、 板橋町内会、 根添町内会、 生出小学校等	300	
21		【パワフルとみざわネットワーク】 (富沢市民センター) 若い子育て世代と町内会役員がそれぞれに持っている特徴を生かし、地域資源である荒川を中心としたイベントを協働して開催することで、これからの地域を担う人材である若い世代の力を地域へ還元する仕組みづくりを目指し、地域コミュニティの活性化を図る。	荒川の河川敷を利用して「ざる川フェスティバル」を実施した。	まちづくり	富沢南町内会、 南大野田町内会、 西大野田町内会、 富沢町内会、 富沢中央町内会等	300	
22		【目指そう！災害に強い長命ヶ丘！】 (長命ヶ丘市民センター) 連合町内会、小中学校、市民センターで実行委員会を立ち上げ、合同で総合防災訓練を行うことで、地域コミュニティの活性化を図る。	実行委員会を重ねて、町内会ごとの役割分担を確認のうえ地域総合防災訓練を実施。あわせて水害をテーマとした研修を行うことで多様化する災害への心構えを学ぶ機会を設けた。	まちづくり	長命ヶ丘連合町内会、 長命ヶ丘小学校、 長命ヶ丘中学校等	136	
23		【クリーン&グリーンアップ西中山】 (南中山市民センター) 当該地域における住居表示の実施を記念した祝賀会と、地域活動に関する基調講演やパネルディスカッションの開催、またその準備段階としてワークショップ等を実施することにより、地域活動の活性化を図る。	地域団体の担い手が集まり、広報活動やデザインについて実践的に学ぶワークショップを開催したうえで、住居表示を実施し、記念式典を開催した。	まちづくり	西中山連合町内会、 西中山北町内会、 西中山南町内会、 西中山豊齢会、 西中山南子ども会育成会、 西中山北子ども会育成会等	246	
24	コミュニティまつり助成	町内会、連合町内会が主催または中心となり実施するコミュニティまつりの一層の振興を図るため、その経費の一部を補助する。	コミュニティまつりの一層の振興を図るため、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団から助成金を交付した。 助成金交付実績：420件	まちづくり	仙台市内の町内会または連合町内会(コミュニティまつりのために設けた実行委員会を含む)	13,672	市民局地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
25	町内会等育成奨励金	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会の運営経費の一部を援助することにより、町内会等の育成を図り、もって地域住民の福祉の向上を図るとともに、住民の市政参加を促進することを目的とする。	町内会等育成奨励金交付世帯数：404,857世帯	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	214,574	市民局地域政策課
26	市連合町内会長会運営補助金	市内の連合町内会組織との連絡協調を目的として活動する仙台市連合町内会長会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績：1件	まちづくり	仙台市連合町内会長会	2,800	市民局地域政策課
27	区連合町内会長協議会運営補助金	区内の連合町内会組織との連携協調を目的として活動する区連合町内会長協議会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績：5件	まちづくり	区連合町内会長協議会	4,275	市民局地域政策課
28	地区連合町内会運営補助金	地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営および活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。	補助金交付実績：113件	まちづくり	地区連合町内会	12,119	市民局地域政策課
29	地区集会所建設等補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会所施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。	補助金交付実績：25件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	70,835	市民局地域政策課
30	地区集会所借上補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会所施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。	補助金交付実績：9件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	1,593	市民局地域政策課
31	屋外掲示板設置補助金	町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。	屋外掲示板設置実績：31基	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	902	市民局地域政策課
32	防犯活動支援事業	犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績：78件	まちづくり、 地域安全活動	仙台市防犯協会連合会、 各地区防犯協会連合会、 各单位防犯協会	22,103	市民局市民生活課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
33	仙台市地域安全安心まちづくり事業	地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付実績:14件	まちづくり、地域安全活動	概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体	1,286	市民局市民生活課
34	国分町地区安全安心街づくり推進	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民および来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。	国分町地区安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。 夜間パトロール:10回 環境美化活動:1回 国分町地区安全安心パレード:1回	まちづくり、環境、地域安全活動	国分町地区安全安心街づくり推進協議会	696	市民局市民生活課
35	各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。	各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動などの安全安心街づくりに向けた事業を実施した。	まちづくり、地域安全活動	町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察	963	市民局市民生活課
36	山岳遭難防止活動団体に対する補助金	山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:3件	地域安全活動	宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部	990	市民局市民生活課
37	地域版避難所運営マニュアル作成	指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。	地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣:16件 指定避難所193か所のマニュアル作成済み。	まちづくり、地域安全活動	町内会等の地域団体、学校等の施設管理者	701	市民局市民生活課
38	杜の都の自転車プランに基づくモデル事業	各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動を関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。	定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。	地域安全活動	地域住民、学校、地区交通安全協会等	3,905	市民局自転車交通安全課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
39	仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業	地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営ならびに活動費の一部を支援する。	高齢者世帯(約800世帯)を訪問しての交通安全啓発事業、通学路等での交通安全指導の実施、高齢者や児童を対象とした交通安全教室等の開催のほか、各種交通安全キャンペーン等に参加した。 交通安全研修会等への参加: 計3回 キャンペーン、交流会等の開催: 計5回	地域安全活動	仙台市交通安全母の会連合会	999	市民局自転車交通安全課
40	協働まちづくり推進助成事業	【空き地の活用、ハーブ栽培を核に地域包括ケアシステムのスムーズな構築を目指して】 年々、高齢化が進む八木山地域においてハーブ栽培とハーブ里親募集により、地域住民と支援を必要とする高齢者およびその支援にあたる団体等との顔と顔が見える関係を構築し、地域包括ケアシステムのスムーズな構築につなげる。	地域住民同士の顔と顔が見える関係構築のため、ハーブ栽培に関するイベントを開催。 ・ハーブ講習会 実施回数: 5回 ・ハーブボランティア登録者募集 登録者数: 約150人 ・ハーブ栽培拠点 拠点数: 11か所	健康福祉・医療, まちづくり	八木山地区社会福祉協議会、八木山連合町内会	1,000	市民局市民協働推進課
41		【貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり】 貞山運河を新浜や沿岸部の復興まちづくりに生かすため、魅力を掘り起こす。地域資源、歴史的資源としての価値を再認識して、地元住民、企業、関連する団体と協力して、イベントやフォーラム等を実施する。	・新浜の魅力発掘のための、フットパス、Eポート/和船の試乗イベントの実施 実施回数: 6回 延べ参加者数: 270人 ・情報誌「ほとりから。」の発行 延べ発行部数: 3,600部 ・フォーラムの開催 来場者数: 約500人	まちづくり, 地域経済活性化	貞山運河研究所、新浜町内会	1,083	
42		【仙台スポーツボランティアプロジェクト ～仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んなまちに～】 スポーツボランティア(SV)がより活動しやすい環境づくりや活動ノウハウの体系化を通して、仙台・宮城地域のSVを量・質両面から盛り上げる。	・SVに特化したwebサイトの構築 募集情報、関連イベント情報を発信した。 ・SV研修の実施 初級研修会実施回数: 3回 初級研修会参加者数: 139人 リーダー研修会実施回数: 1回 リーダー研修会参加者数: 17人 コーディネーター研修会実施回数: 1回 コーディネーター研修会参加者数: 7人	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人ボランティアインフォ、市民スポーツボランティアSV2004、仙台大学	2,984	
43		【文教地区桜ヶ丘における大学と地域の特色を生かした世代間交流】 大学の持つ最大の資源である学生たちの若いパワーを活用し、高齢者と子どもたちと学生が交流する場を創出することで、地域に活力を生み出し、地域全体が明るく元気なまちとなることを目指す。	・高齢者からのヒアリングと料理づくりの実施 実施回数: 7回 ・「スマイルキャラバン」の実施 実施回数: 8回 ・交流サロンの開催 実施回数: 1回 ・桜ヶ丘杜の音楽祭の開催 実施回数: 1回	健康福祉・医療, まちづくり	宮城学院女子大学社会連携部、桜ヶ丘学区連合町内会	622	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
44	若者の社会参加促進事業(仙台ミラソン)	将来の仙台のまちづくりの担い手となる人材の育成と、市職員の政策形成力の向上を目的として、学生を中心とした若者と市職員等が地域課題の解決策の企画・立案やフィールドワークを重ねる「仙台ミラソン」を実施する。	若者を対象とした地域課題解決策の企画立案・実践プログラムを実施した。 ワークショップ:1回 セミナー兼進捗報告会:3回 活動発表会:1回 参加者数:51人	まちづくり, その他	仙台ミラソン実行委員会	3,000	市民局市民協働推進課
45	協働推進人材育成事業	職員の協働に対する意識やNPOに対する理解を深め、庁内の協働推進を図る人材を育成するため、市民活動団体等へ職員を派遣する体験型研修を実施する。	市職員を対象とした事前研修:2回 市民活動団体等に派遣する研修:延べ3~5日間 実施報告会:1回 受講者数:20人 派遣受入団体数:16団体	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター、派遣受入団体	1,530	市民局市民協働推進課
46	仙台市NPO法人組織基盤強化事業	NPO法人の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を強化し、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につなげるため、セミナー等を実施する。	・会計・税務・労務、事務局運営、資金調達等、NPO法人の組織運営に精通した専門家によるセミナーを実施。 セミナー:7回 延べ参加者数:100人(80団体) ・会計・税務、労務その他の法人運営に関する専門家による個別相談会を実施。 参加者数:19人(16団体)	まちづくり	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	2,000	市民局市民協働推進課
47	仙台市市民活動サポートセンター指定管理における各種事業	市民活動の促進に関する事業(施設及び設備の提供、連携交流の推進、情報収集及び提供、人材育成、相談、調査研究等)及び協働の推進に関する事業(機会の提供、情報収集及び提供、事業の支援、調査研究等)を実施する。	仙台市市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。 総利用件数:18,589件 総利用者数:68,815人	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	8,046	市民局市民協働推進課
48	まちづくり人材育成に係るプロジェクト企画運営	東西線開業を契機に高まった市民のまちづくりへの機運を広げ、まちのにぎわい・楽しさの創出や地域の課題解決を図り、地域の魅力を向上させていくことを目的に、まちづくりのプロジェクトをつくり、その実現を目指す人材の育成と、メディアを活用した市民によるまちの情報発信の促進を行う。	まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講し、同講座の受講生が企画するプロジェクトの実現化に向けたサポートを行った。 受講者数:161人 講座数:19回 受講生が生み出したプロジェクト数:5件	まちづくり	株式会社都市設計(WEプロジェクト事務局)	9,990	市民局市民協働推進課 (市民プロジェクト推進担当)
49	仙台市および地下鉄東西線沿線のまちづくりプロジェクト活動(東北工業大学との連携)	「東北工業大学と仙台市とのまちづくりにおける連携・協力に関する協定書」に基づき、東西線沿線まちづくりの研究等を東北工業大学への業務委託により実施する。	仙台市のまちづくりにかかわる2つのプロジェクトを実施した。	まちづくり	東北工業大学	500	市民局市民協働推進課 (市民プロジェクト推進担当)

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
50	東西線まちづくり事業助成	【ARIGATO fes ～Episode.1～】 東日本大震災の支援活動を行う全国の団体と連携し、それらの活動を紹介するイベントを開催する。EKITUZIを会場に、ステージイベント、防災ワークショップ、物販等を行う。	開催日:9月30日 場所:EKITUZI(仙台駅東口) 来場者数:500人	まちづくり	ありがとうフェス実行委員会	428	市民局市民協働推進課 (市民プロジェクト推進担当)
51		【西公園まつり】 震災後、「放っておかれた公園」になっていた西公園に賑わいを取り戻し、新たな来園者を増やすとともに、杜の都の魅力あるスポットとなるよう、さまざまな企画と出店を行うまつりを開催する。	開催日:10月14日 場所:西公園 来場者数:1,500人	まちづくり, 環境	西公園を遊ぼうプロジェクト	375	
52		【仙台市地下鉄東西線コドモエホンプロジェクト】 地下鉄東西線沿線の保育所・幼稚園の園児とともに制作した絵本を地下鉄東西線、宮城県美術館県民ギャラリーに展示する。	開催日:3月27日 場所:地下鉄東西線、宮城県美術館県民ギャラリー 参加者数:430人	まちづくり, 子どもの健全育成	コドモエホン実行委員会	500	
53	市民活動スペース(エル・パーク仙台)管理運営	男女共同参画に取り組むさまざまな市民グループの活動を支援するため、活動の場の提供、関連情報の収集と提供、市民活動相談などを行うオープンスペースを設置している。市民活動支援機能の充実を図るため、特定非営利活動法人に委託し、市民協働による運営管理を行っている。	利用者数(オープンスペース):55,218人 ワークステーション利用回数:1,566回	男女共同参画社会	特定非営利活動法人イコールネット仙台	11,039	市民局男女共同参画課
54	仙台市民間シェルター入所者支援等事業補助金	女性に対する暴力の根絶およびDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。	民間シェルター入所者に対する支援およびDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。	男女共同参画社会	(DV被害者の安全確保の観点から、非公開)	2,400	市民局男女共同参画課
55	市民協働事業提案制度採択事業:多様な協働の場を創出する事業(にじいろ協働事業)	多様な性のあり方について行政・当事者・一般市民それぞれが理解を深め、この課題を自分事と捉えられる協働の場を創出することを目的に、市民団体と協働で研修講師派遣、周知啓発イベント、広報紙発行、居場所づくり事業を実施する。	講師派遣:6回 研修参加者100人超 周知啓発イベント:7月7日～8日開催、参加者数延べ560人 広報紙発行:年4回発行、市民センターや学校へ計12,000部配布 居場所づくり:9回、参加者数延べ100人超	まちづくり, 男女共同参画社会	東北HIVコミュニケーションズ	1,799	市民局男女共同参画課
56	消費生活パートナー事業	消費生活センターと地域をつなぐ担い手(パートナー)を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止および消費生活相談窓口の周知を図る。	消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。 登録者数:48人	消費者保護	市民(公募による)	392	市民局消費生活センター

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
57	仙台市消費者団体活動補助金	消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。	補助金交付実績:4件	社会教育、消費者保護	特定非営利活動法人消費者市民ネットとうほく、仙台市生活学校連絡協議会、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク	1,880	市民局消費生活センター
58	福祉避難所	介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。	平成30年度協定締結施設:2施設(累計118施設)	健康福祉・医療	社会福祉法人湖星会他1施設	444	健康福祉局総務課
59	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活を送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	助成金交付実績:104件	健康福祉・医療	地区社会福祉協議会	18,510	健康福祉局社会課
60	福祉まつり「ウェルフェア」	障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。	開催回数:2回	健康福祉・医療	仙台市障害者福祉協会(受託者)、その他実行委員会を構成する関係団体	2,906	健康福祉局障害企画課
61	表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業『TOGETHER ACTION PROJECT part3(TAP3)』	障害の有無にかかわらず気軽に参加し一緒に楽しめる、ワークショップやオープンアトリエでの音楽などの表現活動を通じた交流を行い、特に若い世代などに対する障害理解の促進を図るPR事業を実施する。	実施回数:5回	健康福祉・医療、文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人とっておきの音楽祭	2,000	健康福祉局障害企画課
62	難病医療相談会	患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働により企画を行う。	実施回数:30回(委託による実施25回、各区での実施5回)	健康福祉・医療	特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)	2,073	健康福祉局障害者総合支援センター

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
63	仙台市給食サービスボランティア助成事業	ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保および孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。	助成金交付実績:4団体 延べ配食数:52,087食	健康福祉・医療	食事サービスふたばの会、高齢者配食サービスぽけっと・はうす、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」	17,828	健康福祉局高齢企画課
64	老人つどいの家(好日庵)	高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。	助成金交付実績:84件	健康福祉・医療	老人クラブ	29,562	健康福祉局高齢企画課
65	老人クラブ活動事業助成	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。	助成金交付実績:440件	健康福祉・医療	老人クラブ	23,071	健康福祉局高齢企画課
66	仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業	ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。	助成金交付実績:13団体 延べ実施回数:803回	健康福祉・医療	ふれあいの家・さざんか、フラッシュグループ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、ゆうゆう(結遊)、特定非営利活動法人ゆうあんどあい、ふれあいデイホーム菘、ふれあいサロンかぎとり、泉ヶ丘ふれあいデイホームろばたの会、南光台ボランティア友の会けやきの会、特定非営利活動法人でんでん宮城いきいきネットワーク、永和台ふれあいデイホームひまわり会、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会	11,725	健康福祉局高齢企画課
67	住民主体による訪問・通所型生活支援モデル事業	要支援者等の利用対象者を新たに受け入れる、高齢者に対する生活支援活動(訪問型サービス)を実施しているボランティア団体等に対し、助成を行う。	助成金交付実績:8団体	健康福祉・医療	向陽台ささえ愛の会、百縁ひろばネットワーク、桂ボランティアの会、太白お助けクラブ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと、特定非営利活動法人暮らしのサポートセンター、特定非営利活動法人仙台傾聴の会仙台支部	722	健康福祉局高齢企画課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
68	高齢者健康増進 (第21回生きがい健康祭)	高齢者の生きがいと健康づくりの場の充実を目的とし、高齢者保健福祉計画の重点課題の一つである「生きがいづくり・社会参加の促進」への具体的な取り組みと位置づけ、実行委員会・仙台市・公益財団法人仙台市健康福祉事業団の三者共催で毎年実施する。 (参考:生きがい健康祭とは、以下3つの総称) ①競技種目交流大会 ②市民広場交流事業 ③はつらつ健康フェスティバル	①競技種目交流大会(全17競技種目) 参加者数:1,931人 ②市民広場交流事業(関係団体・一般団体・協賛企業計31団体、その他14団体によるステージ発表) 来場者数:約10,000人 ③はつらつ健康フェスティバル 発表者:16団体582人 一般入場者数:181人 ボランティア等:35人	健康福祉・医療, 地域経済活性化, 文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市高齢者生きがい健康祭 実行委員会ほか	3,528	健康福祉局高齢企画課
69	認知症カフェ支援事業	認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。	研修実施回数:1回 情報交換会実施回数:2回 延べ参加者数:245人	健康福祉・医療, まちづくり	認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体(認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等)	482	健康福祉局地域包括ケア推進課
70	介護予防月間	介護予防の意義や重要性を広く市民に啓発し、積極的な介護予防の取り組みへの参加を促すことを目的とし、11月を介護予防月間と位置づけ関係団体と連携して実施する。	①オープニングイベント来場者数:2,072人 関係団体:19団体 ②個別催事来場者数:3,420人 関係団体:11団体 催事回数:48回	健康福祉・医療	一般社団法人仙台市医師会、一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市薬剤師会、公益社団法人宮城県看護協会、公益社団法人宮城県栄養士会、一般社団法人宮城県理学療法士会、特定非営利活動法人日本健康運動指導士会、老人クラブ連合会等	596	健康福祉局地域包括ケア推進課
71	被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	復興公営住宅で暮らす高齢者等は生活環境の変化の中で、ストレスなどから運動量が少なくなり、生活不活発病や閉じこもりが多くなる。これを防ぐために運動教室を実施し、生活機能改善を図り、新たな交流の場を提供することを目的とする。	実施回数:47回(市内4区全7か所) 参加者数:781人	健康福祉・医療, その他	町内会等の地域団体、地域包括支援センター、一般社団法人パーソナルサポートセンター	2,882	健康福祉局地域包括ケア推進課
72	介護予防自主グループ支援事業	地域における介護予防活動の推進を目的に、介護予防運動サポーターの人材育成、介護予防自主グループ活動が継続するための後方支援を実施する。	・サポーター養成研修 実施回数:48回 参加者数:749人 ・スキルアップ研修 実施回数:28回 参加者数:1,213人 ・その他 実施回数:2回 参加者数:67人 ・市内230グループが活動中	健康福祉・医療	地域住民により自主的に結成されている介護予防自主グループ、地域包括支援センター	5,569	健康福祉局地域包括ケア推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
73	認知症サポーター等養成事業	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成するため講師を派遣する。なお、養成のための講師は、講座開催のために「キャラバン・メイト養成研修」を受けた「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボランティアの立場で行う。また、ご本人の思いや希望に耳を傾け、味方になって一緒に歩く人を「パートナー」と呼び、身近にいる当事者と話をし、やりたいことを手助けできる人を養成する「認知症パートナー講座」を実施する。認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。	キャラバン・メイト養成研修:1回(養成数62人) 認知症サポーター養成講座:289回(養成数11,421人) 認知症パートナー講座:1回 キャラバン・メイト スキルアップ研修:1回 認知症サポーター情報交換会:1回	健康福祉・医療, まちづくり	「キャラバン・メイト」として登録された人、市民(認知症サポーター養成講座を受講した人)	360	健康福祉局地域包括ケア推進課
74	市民健康プラン推進(3歳児カリエスフリープロジェクト85)	3歳児のむし歯有病者率の低下を目指し、乳児期健診時に歯と口の健康づくりへの動機づけを行う。	・「せんだい☆でんたるノート」、「協力歯科医療機関リスト」を各13,000部作成し、8か月児から9か月児の保護者へ啓発を実施。 ・協力歯科医療機関を対象とした研修会:2回開催、参加者78人	健康福祉・医療	一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市医師会	810	健康福祉局健康政策課
75	市民健康プラン推進(がん予防啓発)	民間企業と協定を締結し、がん検診等市民健診受診に関する啓発を行う。	企業との協定締結:累計22件	健康福祉・医療	アイリスオーヤマ株式会社他21企業・団体	—	健康福祉局健康政策課
76	歯と口の健康週間 市民のつどい	歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に普及啓発し、適切な健康習慣の定着を図る。	実行委員会開催数:3回 市民のつどい・来場者数:800人	健康福祉・医療	東北大学大学院歯学研究科・歯学部、一般社団法人仙台歯科医師会、仙台市私立幼稚園連合会、宮城県栄養士会等	100	健康福祉局健康政策課
77	食育推進(大学生の食育プロジェクト)	食に関心の薄い年代に対する、同世代の学生による食に関する啓発の企画・実施を行う。	①平成28年度同プロジェクトで作成の媒体を使用し、PTAフェスティバル、成人式にて啓発活動を実施 リーフレット配布数:550部 ②ワークショップの開催 回数:6回 参加者数:延べ61人	健康福祉・医療	管理栄養士養成大学の学生	54	健康福祉局健康政策課
78	看護師人材確保対策事業	看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。	卒後1年目研修:3テーマで計7回実施 卒後2年目研修:1テーマで計2回実施	健康福祉・医療	公益社団法人宮城県看護協会	1,000	健康福祉局健康政策課
79	食で健康サポート店事業	健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。	登録件数:67店舗	健康福祉・医療	市内飲食店、食料品販売店、給食施設	60	健康福祉局健康政策課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
80	受動喫煙防止宣言施設事業	県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。	平成30年度登録件数:114件 (累計:1,149件、うち市内施設:615件)	健康福祉・医療	事業所、飲食店等	—	健康福祉局健康政策課
81	こころの健康づくり事業(自死遺族等に対する支援事業補助)	自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。	補助金交付実績:4団体	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台いのちの電話他3団体	722	健康福祉局健康政策課
82	収容動物の譲渡事業	動物管理センター(アニパル仙台)に収容された犬や猫の譲渡会を実施する。	収容動物譲渡会実施回数:44回	その他	特定非営利活動法人エーキューブ	—	健康福祉局動物管理センター
83	仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知および充実を図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。 (2)MSM(男性間性交渉者)を対象とした受検促進 HIV感染のハイリスク層であるMSMを対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 ・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続 閲覧件数:6,372件 ・Twitterを用いた情報発信:エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR ・イベントでのHIV検査情報の掲示、「仙台HIVネット」の広報カード等の配布 (2)MSMを対象とした受検促進 ・MSM向けアプリケーション(バナー)広告 掲載回数:年6回、各1~2週間 ・MSM向け広報物の作成・配布:6月、12月に仙台市が実施したエイズ・梅毒即日検査会のポスター、カードを作成し、市内のMSM向け商業施設に配布(それぞれ12店舗、ポスター計50部、カード計450部)	健康福祉・医療, その他	東北HIVコミュニケーションズ	415	健康福祉局健康安全課
84	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付	献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。	補助金交付実績:1件	健康福祉・医療	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会	275	健康福祉局健康安全課
85	環境衛生改善機器等整備補助金交付	ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に敷設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。	補助金交付実績:22団体	健康福祉・医療, 環境	町内会、連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組織等	673	健康福祉局生活衛生課
86	せんだい食の安全サポーター	食の安全サポーター会議(講習会・食品関係施設の見学)への参加を通じて、食品安全についての理解を深めながら、市民向けのパンフレット等の作成作業や食品衛生監視指導計画への意見を述べる作業などを行う。	せんだい食の安全サポーター会議:4回	健康福祉・医療	せんだい食の安全サポーター	366	健康福祉局生活衛生課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
87	せんだい食の安全情報アドバイザー	リスクコミュニケーションをさらに推進するため、食品衛生監視員とともに食品の安全性に関する普及啓発を行うなど、自ら情報発信する活動を行う。	せんだい食の安全サポーター会議:4回 食品衛生普及啓発活動:1回 市民向け講演会への参加:1回 研修:1回	健康福祉・医療	せんだい食の安全情報アドバイザー	事業番号86と共通	健康福祉局生活衛生課
88	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となって行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。	子どもの健全育成	協力会員	5,470	子供未来局総務課
89	のびすくネット仙台	コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。	子育て支援に関する情報発信を行った。 放送回数:52回(うち半数は再放送)	子どもの健全育成, その他	ラジオ3(株式会社仙台シティエフエム)	—	子供未来局総務課
90	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援および心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。	平成25年度は太白区、平成26年度は太白区、青葉区でモデルを実施し、平成27年度より全区へ拡大した。 参加者数:82人(平成25年度) 172人(平成26年度) 286人(平成27年度) 331人(平成28年度) 321人(平成29年度) 295人(平成30年度)	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人アスイク	69,104	子供未来局子供家庭支援課、健康福祉局保護自立支援課
91	子ども食堂助成金	子供の健やかな育ちを応援するため、「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体に対し、事業費の一部を助成する。	助成件数:25件	子どもの健全育成	「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体	7,745	子供未来局子供家庭支援課
92	仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付	青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:10件	社会教育, 子どもの健全育成	ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台子どもまつり実行委員会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会連合会、仙台市子ども会育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会、仙台市児童・青少年健全育成大会実行委員会	3,784	子供未来局子供相談支援センター

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
93	仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付	仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。	補助金交付実績:88件	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体および、それらの団体の連絡協議会	9,450	子供未来局子供相談支援センター
94	せんだいE-Action事業	市民、企業、行政などが協働して3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行う。	・緑のカーテンの普及、打ち水、ライトダウンイベント等を実施した。 参加者数:5,422人 ・「伊達な節電所キャンペーン」を実施した。 節電実績:メガソーラ7.9基分 参加者数:373人	社会教育, まちづくり, 環境	せんだいE-Action実行委員会	7,278	環境局環境共生課
95	杜の都の市民環境教育・学習推進会議事業 (FEELSendai)	市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。	・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。 延べ実践件数:81件 ・市民活動団体等による環境社会実験企画を実施した。 企画数:3企画 ・啓発イベントを開催した。 来場者数:約1,300人 ・その他、環境教育に携わる若い世代の育成事業等を実施した。	社会教育, まちづくり, 環境, 子どもの健全育成	杜の都の市民環境教育・学習推進会議	5,150	環境局環境共生課
96	天水桶手づくり講座	水循環に関する講座(座学)および天水桶作り講座(実習)を年1回開催。この講座は、合流式下水道の改善と放流先河川の水質浄化等を目的として平成8年度より毎年開催している。現在は大型ゴミ箱を材料に天水桶を作製し、雨水利用や水循環について周知を図っている。	天水桶手づくり講座を実施した。 実施回数:1回(7月7日) 参加者数:抽選による参加者50人(申込者数76人) 会場:せんだい農業園芸センター	環境	仙台リバーズネット・梅田川	339	環境局環境対策課
97	アメニティ・せんだい推進協議会	市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言および意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ゴミ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動を行う。	・エコフェスタ2018を開催した。 来場者数:10,000人 ・3R講師派遣事業を実施した。 実施回数:22回 ・冊子「3Rわかる本2019」を発行した。 発行部数:21,000部	環境	全環衛生事業協同組合、株式会社仙台市環境整備公社、一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会、特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、ペットボトルラベルはがし調査実行委員会、特定非営利活動法人とうほく食育実践協会	2,373	環境局家庭ゴミ減量課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
98	集団資源回収事業	資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。	実施団体に対し、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき、リーフレットを配布した。 実施団体数:1,319団体	環境	町内会、子供会等	88,362	環境局家庭ごみ減量課
99	生ごみ減量・リサイクル講座	生ごみの減量および資源としてリサイクルすることの意識向上を図るため、生ごみ減量のコツやリサイクル方法を紹介する。	生ごみ減量講座を実施した。 実施回数:8回 参加者数:180人	環境	仙台生ごみリサイクルネットワーク	311	環境局家庭ごみ減量課
100	地域清掃支援	「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人などに対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	ごみ袋配布枚数:大袋326,014枚 小袋125,386枚 火ばさみ貸出し本数:延べ2,229本	環境	ボランティア清掃活動を行う市民、事業者、町内会等	8,324	環境局家庭ごみ減量課
101	仙台まち美化サポートプログラム	市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の提供、火ばさみの貸出し、ごみの収集などの支援をする。	登録団体数:250団体	環境	ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等	—	環境局家庭ごみ減量課
102	クリーン仙台推進員制度	ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員:2,486人 クリーンメイト:1,711人 グループ学習会実施回数:5回 分別研修会開催:5区 排出実態調査:1,464人	環境	町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト	7,804	環境局家庭ごみ減量課
103	地域ごみ出し支援活動促進事業	ごみ出しが困難で一定の要件を満たす高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体を対象に、活動実績に応じ、奨励金を交付する。	登録団体:19団体 支援世帯数:12世帯 支援実施回数:179回	健康福祉・医療, 環境	高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体	26	環境局家庭ごみ減量課
104	COC+参加大学との連携事業	学生が取材班を組織し、地元中小企業の経営者や社員に対して、企業の魅力や取り組みなどについて取材する。取材を基に、取材先の紹介記事を書き、専用WEBサイト、SNS、情報誌などで情報を発信する。	学生が地元中小企業を取材して作成した記事を情報誌(WISE)としてとりまとめ、各大学等へ配布した。併せて、専用WEBサイトに記事を掲載し情報発信を行った。 学生参加者数:33人 取材先:23社 情報誌(WISE)配布数:5,000部	地域経済活性化	仙台・地域人材定着推進実行委員会	20,000	経済局地域産業支援課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
105	中心部商店街活性化事業	中心部商店街の賑わい維持のため、市中心部の8商店街振興組合をはじめ、仙台商工会議所、百貨店、新聞社、学識経験者、まちづくり関係者等が連携するエリアマネジメント組織の立ち上げおよび自立に向けた取り組みを支援する。併せて中心部の賑わいをフィールドとして活用し、起業促進等のモデルケース構築にも取り組む。	平成29年4月1日に発足した仙台市中心部商店街活性化協議会において、中心部エリアの魅力向上や利便性向上に資する事業を検討し実施した。また、今後の協議会のあり方や新規事業について協議会の中で検討を行った。	まちづくり、地域経済活性化	中心部8商店街振興組合(名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール一番町、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市)	70,689	経済局地域産業支援課
106	商店街賑わい創出・基盤整備事業	商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。	イベント助成事業:26件 商店街ビジネス連携支援事業:1件 広報力強化支援事業:1件 商店街共通課題解決モデル事業:1件 環境整備:1件 アーケード大規模改修事業:1件 ファンづくりサポート事業:2件	まちづくり、地域経済活性化	商店街および任意の商店会等	94,542	経済局地域産業支援課
107	クリエイターのための異分野協働機会創出支援事業	仙台市域に暮らす障害のある方と地元デザイナーが、一緒に商品開発を行うイベントとして株式会社楽天野球団の協力の下、球団応援グッズの商品開発ワークショップを実施する。	・48時間デザインマラソンの実施 クリエイター9人、障害のある個人3人、福祉事業所4団体、計35人が参加した。 実施回数:1回 参加者数:35人	健康福祉・医療, 地域経済活性化, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	1,000	経済局地域産業支援課
108	東北大学IS研究センター	東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企業との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。	延べ来訪数:155社(349人) 延べ訪問数:909社 競争的資金獲得支援:9件	地域経済活性化	東北大学	26,563	経済局産業振興課
109	農あるふるさとづくり支援事業	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農産物の産直市、試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績:2件	地域経済活性化	概ね半数以上が当該地域に住所を有する者で構成されている団体	300	経済局農政企画課
110	日本文化体験	外国人住民が、日本文化を体験できる機会を提供するとともに、市民団体の活動を支援する。	7月に聖ウルスラ学園の姉妹校着付け体験のため、きつけの会を紹介した。 参加人数:19人	文化・芸術・スポーツ・学術, 国際交流・協力	きつけの会(日本伝統文化の会)	—	文化観光局交流企画課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
111	せんだい日本語講座	外国人住民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から中級まで10クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:610回 受講者数:前期102人、後期124人	社会教育、国際交流・協力	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	1,960	文化観光局交流企画課
112	日本語ティールーム	外国人住民を対象に行う日本語講座(託児付)。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティールームボランティアが務める。	講座開催数:69回 受講者数:55人	社会教育、国際交流・協力	日本語ティールーム	250	文化観光局交流企画課
113	さっと日本語クラブ	小中学生の外国人住民を対象に、日常生活および学校生活、学習に必要な日本語能力習得を図る講座を提供する。青葉区中央市民センターを会場に、5月から翌年2月に実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:34回 受講者数:29人	国際交流・協力、子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	130	文化観光局交流企画課
114	せんだい地球フェスタ	仙台市内の国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体とボランティアが集まるイベントを開催する。	「せんだい地球フェスタ2018」を9月に開催し、団体紹介、ステージ発表、世界の食ブース設置等を行った。 来場者数:約8,100人 参加団体:57団体 ボランティア:72人	国際交流・協力	せんだい地球フェスタ実行委員会	4,833	文化観光局交流企画課
115	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2018宮城	日本語を母語としない親子のために、高校進学についての説明会を開催する。	「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2018宮城」を8月に実施し、高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談を行った。 参加者数:35人	国際交流・協力、子どもの健全育成	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等	70	文化観光局交流企画課
116	外国につながる子どもサポートせんだい	日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。	外国につながる子どもに関する相談対応およびコーディネーター派遣による支援の実施 相談受付:46件 コーディネーター派遣:16件	国際交流・協力、子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS	348	文化観光局交流企画課
117	日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室	日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。	「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を7月31日～8月3日まで実施し、教科学習および日本語学習を行った。 参加者数:外国につながる子ども延べ49人	国際交流・協力、子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	216	文化観光局交流企画課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
118	仙台国際センター交流コーナー相談業務	国際センター交流コーナーにて、各種相談サービスを行う。	相談受付数:4,639件 (日本人:2,545件、外国人:2,094件)	社会教育、まちづくり、国際交流・協力	外国人支援の会OASIS	10,535	文化観光局交流企画課
119	市民国際交流事業補助金	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。	補助金交付実績:10件	国際交流・協力	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体	839	文化観光局交流企画課
120	西部地区活性化助成事業	主要観光地である西部(秋保・作並定義・泉西部)地区において、同地域における観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を促進し、交流人口の拡大および地域経済の活性化を目的に実施される地域活性化事業について助成する。	助成金交付実績:16件	まちづくり、地域経済活性化	西部(秋保・作並定義・泉西部)地区の区域内に活動拠点を有し、観光振興に寄与する活動を行う団体	9,959	文化観光局観光課
121	仙台国際ハーフマラソン大会	市民も参加できるマラソン大会を運営する。	仙台国際ハーフマラソンを開催した。 参加者数:13,228人 沿道観衆者数:75,000人	文化・芸術・スポーツ・学術	市民ボランティア、市学区民体育振興会連合会、スポーツボランティア団体	60,000	文化観光局スポーツ振興課
122	全日本大学女子駅伝対校選手権大会	大学女子日本一を決める駅伝大会を実施する。	全日本大学女子駅伝対校選手権大会を開催した。 沿道観衆者数:85,000人	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会	11,000	文化観光局スポーツ振興課
123	スポーツコミッションせんだい	大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。	スポーツイベントについての開催支援数:9件 大会誘致数:8大会	文化・芸術・スポーツ・学術	スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関	8,834	文化観光局スポーツ振興課
124	仙台市学区民体育振興会連合会育成補助	小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会、120学区民体育振興会	18,582	文化観光局スポーツ振興課
125	仙台市スポーツ協会育成補助	種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市スポーツ協会、区スポーツ協会	18,196	文化観光局スポーツ振興課
126	仙台市レクリエーション協会育成補助	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。	仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市レクリエーション協会、区レクリエーション協会	605	文化観光局スポーツ振興課
127	市民能楽講座	能楽に関する専門性を有する仙台市能楽振興協会と連携し、能になじみのある人はもとより、初心者にもわかりやすい能の公演を開催する。	市民能楽講座を開催した。 チケット販売枚数: 能楽公演:538枚 参加者数: 能楽公演:476人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市能楽振興協会	2,183	文化観光局文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
128	公益財団法人仙台市市民文化事業団事業(支援・助成・協力)	市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。 ①助成事業:審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。 ②協力事業:イベント等の制作面での協力をを行う。 ③支援事業:公益財団法人仙台市市民文化事業団が発行する季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	①助成金交付実績:117件 ②協力件数:91件 ③支援件数:183件	文化・芸術・スポーツ・学術	事業を主催し実施する市内の団体(個人)、事業を主催し市内で実施する市外の団体(個人)	19,709	文化観光局文化振興課
129	音楽ホール整備検討事業	楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、有識者による仙台市音楽ホール検討懇話会を設置し検討を進めるとともに、市民向けのシンポジウムを開催する。	・議論の輪を広げるためにシンポジウムを開催:2回 ・平成31年3月に仙台市音楽ホール検討懇話会から報告書が提出された。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	市民の参加者	16,407	文化観光局文化振興課
130	仙台市文化プログラム	【SHIRO Atelier & Studio — ともにつくる芸術劇場】 美術・演劇・舞踊・音楽・メディア芸術など多様な表現を介し、障害のある人たちの自由で規範にとらわれない表現を導き出す文化芸術活動を支援・推進していく。 ・環境づくり(事業の公益化):ネットワーク設置、情報交換、ワークショップ型勉強会の実施 ・表現の場づくり(裾野拡大):文化施設を活用した定期的なアトリエ&スタジオ事業 ・芸術作品の創造(才能の発掘育成):芸術性、話題性、革新性、独創性をともなう作品の創造 ・文化プログラムの評価と検証(社会的インパクト評価):障害のある人たちの芸術文化活動に関するショウケースとシンポジウム開催	①ネットワーク会議、勉強会(計3回) 参加者:51人 ②アトリエ&スタジオ事業(計9回) 参加者:140人 ③ファシリテーターの発掘・育成とネットワークづくり(計1回) 参加者:8人 ④障害のある人と芸術文化活動の大見本市(計1回) 参加者:2,187人	文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	2,762	文化観光局文化振興課
131		【せんだいコンセキ発掘塾】 仙台全体を「遺跡」として見立て、遺産のコンセキを発掘する「達人」たちから、「古地図」や「地名」、「凸凹」などのアイテムを使いながら、まち歩きを通して仙台を見る新たな視点を学び、知り、楽しむ。	「古地図」や「地名」、「凸凹」などを基に、仙台のコンセキを再発見するまち歩きを実施(計10回) 参加者:105人	文化・芸術・スポーツ・学術	有限会社イーピー 風の時編集部	1,516	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
132		【二重のまち／交代地のうたを編む】 震災をテーマにした映像作品制作や上映会(トークイベント含む)、作品展示を行う。 ・映像作品制作 ・上映会とトークイベント ・『二重のまち』のこれまでの伝える展示と上映会 ・広報・記録事業	①上映会(トークイベント含む)(6作品) 参加者:330人 ②展覧会 参加者:502人	文化・芸術・スポーツ・学術	小森はるか+瀬尾夏美	1,712	
133	まちづくり支援専門家派遣事業	【芭蕉の辻】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域に合った交通手段の実現のため検討会を実施した。 派遣回数:6回	まちづくり	芭蕉の辻まちづくり協議会	300	都市整備局都市計画課、 青葉区道路課
134		【生出地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	委員会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計9回	まちづくり	生出地区まちづくり委員会	450	都市整備局都市計画課、 太白区ふるさと支援担当
135		【あすと長町北部】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計5回	まちづくり	杜の広場にぎわいづくり勉強会	250	都市整備局都市計画課、 地下鉄沿線まちづくり課
136		【通町地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会等を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域の特性や課題整理のための勉強会等を実施した。 派遣回数:計10回	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	500	都市整備局都市計画課
137		【坪沼地区】 坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討、基本構想の作成を行う団体に対して、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討を行う勉強会を実施した。 派遣回数:計10回	まちづくり	坪沼地区ふるさと活性化研究会	500	都市整備局都市計画課、 太白区ふるさと支援担当
138		【愛子地区】 区画整理事業の事業化に向けた土地利用計画や資金計画を定める事業計画案の検討を行う団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、区画整理事業の事業化に向けた勉強会および各地の先行事例の視察を実施した。準備委員会の活動やまちづくりに係る情報紙を2回地権者に郵送した。 派遣期間:4月2日～平成31年3月29日	まちづくり	愛子土地区画整理組合設立準備委員会(愛子地区まちづくり発起人会から改組)	799	都市整備局都市計画課、 市街地整備課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
139	[前ページ続き] まちづくり支援専門家派遣事業	【将監地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計4回	まちづくり	将監町内会自治会連絡協議会	200	都市整備局都市計画課、 財政局財政企画課
140		【おおまち地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり構想案の作成に向けた勉強会を実施する団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、まちづくりの方向性をまとめたまちづくり構想案の策定に向けた勉強会を実施した。 派遣期間:4月2日～平成31年3月29日	まちづくり	今後のおおまちなまちづくりを考える勉強会	896	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
141		【車町通地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会および住民アンケートを実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域の特性や課題整理のための勉強会および地域住民の意識等を把握するためのアンケート調査を実施した。 派遣回数:計6回	まちづくり	車町通共栄会	300	都市整備局都市計画課
142		【宮城野通地区】 宮城野通エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、まちづくりコンセプトや手法の検討、他都市事例学習などを行った。 派遣回数:計8回	まちづくり	宮城野通り勉強会	400	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
143		【作並・新川地区】 地域課題の整理と活性化策検討のための勉強会および住民アンケートを実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域住民を対象にしたアンケート調査を行い、地域課題の把握を行うとともに地域活性化策の検討等の取り組みを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	作並・新川地区活性化連絡協議会	300	都市整備局都市計画課、 青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当
144		【国見地区】 平成風土記作成のための資料収集や取材を行う団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	国見地区平成風土記作成委員会	300	都市整備局都市計画課、 青葉区まちづくり推進課
145		【片平地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計5回	まちづくり	片平地区まちづくり会	250	都市整備局都市計画課、 青葉区まちづくり推進課
146		【東中田地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	東中田地区まちづくり推進委員会	300	都市整備局都市計画課、 市民局市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
147		【秋保地区】 地域の交通の課題整理と、活性化案の検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計2回	まちづくり	秋保地区の交通を考える会	100	都市整備局都市計画課、 公共交通推進課
148	景観まちづくり協議会活動助成金事業	【青葉通地区】 魅力的で賑わいのある「青葉通」を目指し、まちづくり活動を行っている地元協議会に対し、景観形成に関する活動の助成等により支援する。	地元協議会が青葉通の賑わいづくりのために実施した「青葉通カフェ」に対して助成金を交付した。	まちづくり	青葉通まちづくり協議会	100	都市整備局都市景観課
149	生活交通運行維持対策事業	【坪沼地区】 路線バスの運行が廃止された坪沼地区において、地域の住民組織が主体となって運営している乗合タクシーについて、支援を行う。	乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。	まちづくり	坪沼乗合タクシー運営協議会	2,500	都市整備局公共交通推進課
150		【青山地区】 青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。	青山地区交通検討会での検討の場に参加し、関係するバス事業者や区役所等との調整を行った。	まちづくり	青山地区交通検討会	—	
151	市民協働事業提案制度採択事業：公共交通ラボ	公共交通機関と自転車の利用を促すことにより、マイカーの利用を減らし、「歩いて楽しい」あるいは「乗って楽しい」ウォークブルタウンを目指す。「バス利用の向上」「中心部の渋滞緩和」「健康に暮らせる街」等に関して、市民フォーラムなどの開催やアンケート調査を通じて市民の意見を吸い上げ、検討会の中で交通手段について議論を行い、民間ならではのアイデアを実践に移すための実証実験を検討する。	市民参加のワークショップなどを開くとともに株式会社都市設計を事務局とする検討会を行った。また検討会メンバーによるヒアリング調査を実施した。 市民参加ワークショップ、市民アンケート、市民会議、市民フォーラム、検討会、関係先ヒアリング調査	まちづくり	株式会社都市設計	2,678	都市整備局公共交通推進課
152	みんなでつくろう地域交通スタート支援事業	燕沢地区において、地域の方が主体となって試験運行に取り組む乗合交通「のりあいつばめ」の取り組みを支援する。	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。	まちづくり	燕沢地区交通検討会	6,784	都市整備局公共交通推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
153	マンション管理適正化推進事業	マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。 市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。	・情報提供啓発事業 マンション管理基礎セミナー:2回 公開相談会(セミナー併設)、 管理入門講座(セミナー併設)、 相談窓口等一覧の作成および 管理組合向けに配布 ・ネットワーク運営 全体会議(1回)、 運営会議(6回)、 各種部会(計7回) ・各団体相談事業(日常の相談対応、公開相談会の開催等)	その他	マンション管理支援ネットワーク せんだいみやぎ(事務局:一般社団法人宮城県マンション管理士会)	3,619	都市整備局住宅政策課
154	東部地域移転跡地利活用推進事業	防災集団移転後の七北田川以南の5地区(南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚)の跡地について、市民・事業者など、民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進める。	・事業候補者決定数:6事業者(新規:5、追加:1) ・実施事業数:1事業 カントリーパーク新浜(田植え体験、生き物観察会、収穫祭など)	まちづくり	移転跡地利活用事業候補者	106,736	都市整備局復興まちづくり課
155	私道等整備補助	私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:11件	地域安全活動	町内会等	36,947	建設局道路管理課
156	街路灯整備補助	仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:42件	地域安全活動	町内会等	3,723	建設局道路管理課
157	街路灯電気料補助	町内会等が私道に設置している街路灯の電気料について、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:585件	地域安全活動	町内会等	34,093	建設局道路管理課
158	仙台雪道おたすけ隊	市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。	登録団体数:56団体 (うち平成30年度登録団体数:7団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体	—	建設局道路保全課
159	仙台市歩道等除雪機械購入補助金	市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。	補助金交付団体数:110団体 (うち平成30年度補助金交付団体数:8団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会	1,913	建設局道路保全課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
160	ふるさとの杜再生プロジェクト	復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。また、地元町内会、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットフォームとする。	・仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議開催数:6回 ・市民植樹の実施回数:2回 ・市内外の児童生徒との協働による植樹・育樹:3回 ・育樹会の実施回数:6回	まちづくり, 環境	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	31,125	建設局百年の杜推進課
161	緑の活動団体の認定 緑の活動団体助成金	みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。	緑の活動団体認定団体数:24団体 助成金交付実績:6件	まちづくり, 環境	緑の活動団体	424	建設局百年の杜推進課
162	花壇づくり助成事業	地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子供会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:278件	まちづくり, 環境	地域団体等	10,400	建設局百年の杜推進課
163	花いっぱいまちづくり助成事業	道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:7件	まちづくり, 環境	商店街	3,000	建設局百年の杜推進課
164	緑化木植栽助成事業	緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	助成金交付実績:7件	まちづくり, 環境	地域団体等	1,000	建設局百年の杜推進課
165	仙台市公園愛護協力会	公園ごとに組織され、公園の除草清掃、遊具施設の点検通報活動、園芸講習会や適正利用等に関する公園愛護思想の普及など地域におけるきめ細かな活動に取り組み、地域コミュニティづくりにも貢献する。	結成数:1,301団体	まちづくり, 環境	仙台市公園愛護協力会各会	40,942	建設局公園課
166	仙台市河川愛護会	河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。	延べ実施回数:220回 延べ参加人数:18,806人	環境	仙台市内の各河川愛護団体	1,533	建設局河川課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
167	広瀬川1万人プロジェクト	杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。	春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を実施した。 ・春(6会場) 参加者:1,454人、回収ごみ量:178袋 ・秋(14会場) 参加者:2,065人、回収ごみ量:339袋 (回収ゴミ量は45ℓゴミ袋換算)	まちづくり、環境	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	—	建設局河川課
168	広瀬川で遊ぼう	多くの市民に広瀬川に関心を寄せてもらうため、毎年5月のゴールデンウィークに、若林区の宮沢緑地にてさまざまなアクティビティが体験できるイベントを開催する。上空を泳ぐ鯉のぼりを眺めながら楽しむ「手漕ぎボート」や「Eボート」、自分で作ったロケットを広瀬川の水で飛ばす「ペットボトルロケット」など、子供から大人まで、家族で広瀬川に親しむことができる。	イベント「広瀬川で遊ぼう」を5月3日、4日、5日の3日間開催した。 来場者数:約3,300人(3日間合計)	まちづくり	広瀬川で遊ぼう実行委員会	450	建設局河川課
169	作並かつぱ祭り	広瀬川の上流域で、子供たちが川に親しめるイベントとして開催する。インストラクターに指導を受けながら、川遊びや生き物の観察ができる体験や、生け簀を泳ぐニジマスを手づかみで捕まえる体験など、川の中に入って行う催し物を通して、子供たちが広瀬川の自然や生き物に直接触れ、川の魅力を体感しつつ、環境保護の大切さを学ぶことで、広瀬川の自然を次世代に引き継ぐためのきっかけとする。	イベント「作並かつぱ祭り」を開催した。 来場者数:281人 ※平成27年度より事前申込制による人数制限を実施	まちづくり、地域経済活性化	作並かつぱ祭り実行委員会	200	建設局河川課
170	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区民まつり	11月3日(文化の日)に、地域や世代を超えた交流と区民意識の高揚を図ることを目的に、区内の多くの市民団体や企業の協賛を得ながら、区民の代表からなる実行委員会を組織し、区を挙げて区民手づくりのまつりを実施する。	勾当台公園市民広場等を会場に、ステージや催事を行ったほか、市民パレードを実施した。 開催日:11月3日	まちづくり	いきいき青葉区推進協議会、 青葉区民まつり実行委員会	4,829	青葉区まちづくり推進課
144 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区平成風土記作成事業	【国見地区】 連合町内会単位の地域で今日時点における地理の状況や遡れる範囲の歴史的知識(今後忘れ去られる恐れのある地域歴史や市民生活の歴史)を地域住民の手で「平成風土記」として書き留め、史料に資するとともに、今後の地域づくりの参考となる資源とする。	国見地区において、実施期間最終年となる2年目の平成30年度は、資料編集作業等を行い平成31年1月に国見地区平成風土記を完成させた。 会議開催数:13回	まちづくり	国見地区平成風土記作成委員会	200	青葉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
171		【八幡地区】 連合町内会単位の地域で今日時点における地理の状況や遡れる範囲の歴史的知識(今後忘れ去られる恐れのある地域歴史や市民生活の歴史)を地域住民の手で「平成風土記」として書き留め、史料に資するとともに、今後の地域づくりの参考となる資源とする。	八幡地区において作成委員会を立ち上げ、2年間の実施期間のうち1年目となる平成30年度は、資料収集や取材等を行った。 会議開催数:11回	まちづくり	八幡地区平成風土記作成委員会	50	
172	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台伝統ものづくり塾	仙台の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。	表具と仙台みそを取りあげ、その歴史を学ぶとともに、ミニ畳・からくり屏風・仙台みその製作体験を行った。 参加者数:68人(3回実施)	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台伝統ものづくり塾実行委員会	105	青葉区まちづくり推進課
173	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演	仙台のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演講習会を実施し、上演者の養成も行っている。	仙台七夕まつりや八木山動物公園での紙芝居上演会や、紙芝居上演者育成のための講習会を開催したほか、35作品目となる新作紙芝居の作成を行った。紙芝居の貸出、販売も行っている。 貸出:19件(54作品)、販売:4件	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会	400	青葉区まちづくり推進課
174	区民協働まちづくり事業-企画事業: ほたるの里づくり	ホテルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民のホテルに対する関心と、ホテルを大切にすることを盛り上げるとともに、ホテルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。	ホテルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動や、ホテル観賞会、ホテルまつり(旭ヶ丘ホテルまつり、新川ホテルまつり、定義ほたるまつり他)等の各種イベントを開催した。	まちづくり、環境	仙台市ほたるの里づくり協議会	1,000	青葉区まちづくり推進課
175	区民協働まちづくり事業-企画事業: 西公園キャンドルライトファンタジー	西公園の活性化と市民の交流の場の提供を目的として、子どもたちをはじめとする市民が未来への夢やメッセージを託した手づくりキャンドルをさまざまな形に並べるキャンドルパフォーマンスを開催している。	12月8日に西公園を会場に、手作りキャンドルの飾りつけ、出店、ステージ発表などを実施した。 来場者数:約5,700人	まちづくり	西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会	630	青葉区まちづくり推進課
176	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台市宮城地区市民文化祭	宮城地区の芸術文化の伝承および創造の発展・向上を図ることを目的として、毎年、地区内の伝統芸能をはじめとした文化活動団体のさまざまな部門の作品展示やステージ発表を行う「仙台市宮城地区市民文化祭」を開催する。	広瀬市民センター、広瀬文化センター等を会場に舞踊、郷土芸能の発表会、工芸作品や写真等の展示、囲碁大会を実施した。 開催日:11月8日～11日 参加者数:1,083人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市宮城地区市民文化祭実行委員会	450	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
177	区民協働まちづくり事業-企画事業: 回文の里づくり事業	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、回文をことば遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。	仙台市夏休み子ども回文コンクール(応募作品301点)、第21回日本ことば遊び回文コンテスト(応募作品712点)、回文クイズなどを行った。	地域経済活性化	仙台・作並回文の里づくり実行委員会	830	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
178	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区まつり	まつりにかかわる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。	宮城総合支所駐車場、広瀬文化センター、保健センター等を会場に、仙台農業協同組合・みやぎ仙台商工会等関係団体と協力し、宮城地区まつりを実施した。 開催日:10月28日	まちづくり	いきいき宮城地区推進協議会、 宮城地区まつり実行委員会	1,550	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
179	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大倉ダムの魅力発信事業	地域資源である大倉ダムを活用し、人口減少の続く大倉・定義地区への交流人口の拡大と、西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼりを掲げることで、児童生徒の郷土愛を育むことを目指す。	令和元年5月2日～6日の大倉ダムへの鯉のぼりの設置に向け、西部地区の小中学校の児童生徒による鯉のぼりの製作および設置用品等の準備を行った。	まちづくり, 地域経済活性化	大倉ダムの魅力発信実行委員会	400	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
180	区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【「桜ヶ丘公園」を活用した文教地区まちづくり】 地域の公園に地域住民や小中学校が一体となって、野生植物の採集や表示板の作成を行うことによって、地域への愛着や連帯感を醸成し、世代間交流の場として活用する。	企画会議の開催:7回 植栽の勉強会開催:1回 植栽の実施:3回 ウォーキングコースの測定:1回	まちづくり	桜ヶ丘学区連合町内会	61	青葉区まちづくり推進課
181		【作並「農・食・遊」体験プロジェクト】 自然環境資源を活用した「農・食・遊」をリンクさせた農業体験イベントや自然探訪会などを実施し、作並型グリーンツーリズムを行うことで耕作放棄地の利活用と交流人口の拡大を図る。	企画会議の開催:17回 イベント開催:5回 耕作放棄地における畑作業:45回	地域経済活性化	作並地区未来プロジェクト	340	
182		【作並・新川魅力再発見事業】 地域の自然や歴史等に触れる機会をすることで、地域住民同士の新たなつながりを生み出すとともに地域への関心を喚起し、コミュニティの活性化を行う。	企画会議の開催:5回 研修会開催:2回 冊子発行:2回	まちづくり	作並・新川地区活性化連絡協議会	150	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
183		【仙台・芋沢自然薯まつり】 仙台・芋沢自然薯まつりを通して、地域の魅力と知名度アップを目指すとともに、地域間または地域内外の方々との交流を進めることによって、地域の活性化を図る。また、自然薯や米のブランド化を進めることによって、地域の新たな魅力創出を図り、地域課題解決につなげていく。	企画会議の開催:6回 イベント開催:1回	地域経済活性化	仙台芋沢自然薯研究部会	300	
184		【ジイジ&バアバの「へとへとでもやっぱり楽しい孫育て」冊子作成プロジェクト】 祖父母が子育てのサポーターとなって家庭内の子育てをよりスムーズに行えるよう、情報活用冊子「祖父母手帳」を作成し、世代を越えた子育て支援の一助となることを目指す。	企画会議の開催:23回 勉強会の開催:4回 イベント開催:1回 冊子発行:1回	子どもの健全育成	結糸乃会	477	
185		【青葉神社通り魅力づくり事業】 地域の歴史性の再確認として、大学との連携による調査、マップ作成、見学会の実施や、前年度の交通量調査の結果に基づいた地域にふさわしいモデル案の作成・検討を行う。	イベントや会議の開催、広報紙の発行を行った。 イベント開催:4回 会議開催:19回 広報紙発行:2回 小冊子発行:1回	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	400	
186		【青葉山・八木山フットパスづくり】 青葉山から八木山まで歩くフィールドワークとワークショップを交互に実施し、その結果をまとめた散策ガイドを作成することで、両地区の連携体制を構築し、新たな魅力を創出する。	フィールドワーク:3回 ワークショップ:3回 広報紙発行:4回 シンポジウム:1回	まちづくり	青葉山・八木山フットパスの会	450	
187		【女性防災リーダー育成講座】 震災時に避難所運営や防災・減災の担い手として女性リーダーの重要性がクローズアップされたことから、地域の防災力向上のため、女性を対象とした防災・減災講座や避難所運営の実践力を身に付けるワークショップを開催する。	ワークショップの開催:3回	地域安全活動	北仙台地区連合町内会	157	
188	ふるさと底力向上プロジェクト: 荒巻包括ケアシステムモデル事業	荒巻地区において、高齢になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、地域特性を踏まえた支え合いシステムを地域と協働で構築する。	地域が主催する検討会(12回開催)を支援する取り組みを行った。	健康福祉・医療, まちづくり	荒巻地区福祉向上委員会(町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、赤十字奉仕団などで構成)	2,000	青葉区障害高齢課、ふるさと支援担当

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
189	ふるさと底力向上プロジェクト: 中山郊外居住モデルプロジェクト	中山地区における少子高齢化の進展に伴う地域課題を解決するため、地域が展開する「中山プロジェクト」の推進を支援する。	プロジェクトの拠点施設となる多世代交流センター「とびのこハウス」が開設され、食堂の営業や各種教室、ワークショップなどが実施された。 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト補助金の申請等の支援を行った。	まちづくり	特定非営利活動法人中山街づくりセンター	—	青葉区ふるさと支援担当
190	ふるさと底力向上プロジェクト: 仙台萬本さくらプロジェクト	青野木地区・大倉地区において、住民・事業者・行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。	桜の苗の植樹本数:約4,500本	まちづくり	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会	160	青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当
143 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 作並・新川地区活性化事業	作並・新川地区において、町内会・自治会、事業所、各種団体等が連携して、協議会を設置し、地域活性化に向けた取り組みを行う。	今後の取り組みの方向性等をまとめた活性化プランの作成を行った。	まちづくり	作並・新川地区活性化連絡協議会	403	青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当
191	戦災復興展	昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにす場として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。	戦災復興展を各種団体の協力により開催した。 来場者数:2,600人	社会教育, まちづくり	仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会等	1,200	青葉区まちづくり推進課
192	被災者交流活動助成-青葉区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:1件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	56	青葉区まちづくり推進課
193	青少年健全育成事業 子供のための日本語講座 「さっと日本語クラブ」	在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。 事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。	実施回数:34回 延べ参加人数:497人	国際交流・ 協力, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	325	青葉区中央市民センター
194	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野通・榴岡公園ふれあい魅力UP事業	仙台駅東口から楽天命パーク宮城に至る宮城野通や榴岡公園周辺の地域資源を積極的に活用し、企業・団体・町内会や市民、NPO等との協働により、新たな賑わいと魅力の創出に取り組む。	夏まつり仙台すずめ踊り広報のため、区内町内会等へポスターを配布し、掲示を依頼した。	まちづくり	宮城野通・榴岡公園活性化委員会、 仙台駅東口商工事業協同組合	889	宮城野区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
195	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの・まつり	区制開始の年の平成元年に始まった宮城野区の「区民まつり」。区内で活動するさまざまな市民やグループの発表と交流の場として区民手作りのまつりを毎年開催する。	みやぎの・まつりを開催した。 開催日:10月21日	まちづくり	みやぎの区民協議会、 みやぎの・まつり実行委員会	5,389	宮城野区まちづくり 推進課
196	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域はっぴい子育て支援事業	子育てを支える市民グループ・団体・区役所の協働により「地域はっぴい子育てプロジェクト」を企画運営し、子育て中の母親の育児不安や地域での育児孤立の解消につながるよう、子育て情報や保護者が子供と一緒に成長し、子育ての楽しさを実感できる機会を提供する。	①イベントの実施 ・ママらいふ手帳講座:6回 (新田・原町・宮城野・岩切・鶴巻児童館、高砂児童館・高砂市民センター) 参加親子:計54組 ②会議等の実施:10回 ③ママらいふ手帳の作成:3,000部(乳幼児を抱える子育て中の世帯等に配布)	健康福祉・ 医療, まち づくり	みやぎの区民協議会子育て支援部会	380	宮城野区まちづくり 推進課
197	区民協働まちづくり事業-企画事業: すずむしの里づくり事業	仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会・交換会の他、小学校等におけるスズムシ出前講座なども行う。音の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。	講師派遣事業:6小学校 参加児童約500人 配布会の実施:3会場 約500人来場 実験放虫事業:6回 約30,000匹 飼育事業:75ケース 約100,000匹 展示広報事業:市内21か所に展示	環境	すずむしの里づくり実行委員会	449	宮城野区中央市民 センター
198	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域防災力向上事業	地域の防災力向上を目的として防災・減災に関するセミナー等を企画し、知識の習得や意識向上に繋がる取り組みを行う。	宮城野区防災セミナーの実施:1回(10月25日実施) 来場者数:250人	地域安全活動	町内会等	53	宮城野区区民生活 課
199	区民協働まちづくり事業-企画事業: おらほの公園草刈隊支援事業	魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸出のほか、活動を周知する看板を公園に設置する。	登録団体:47団体(新規5) (企業18(新規1)、町内会等29(新規4)) 実施団体:28団体 (企業15、町内会等13) 延べ実施回数:88回 (企業32回、町内会等56回) 機械貸出延べ台数: 自走式草刈機 100台 肩掛け式 120台 ヘッジトリマー 27台	環境	企業、町内会、公園愛護協力会等によるボランティア団体(登録制)	1,820	宮城野区公園課
200	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの地域力向上支援事業	ふるさと意識を醸成し、地域活動を活性化するため、地元学の成果を活用しながら、地域の歴史や生活文化・観光などの情報発信に取り組むさまざまな団体の活動と交流を促進し、地域力の向上を図る。	新たなプロジェクトの創出を目指し、事業の方向性の検討を進めた。 検討会:3回	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	NPO、地域団体等	—	宮城野区まちづくり 推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
201	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮文活性化事業	宮城野区文化センター前広場の活用により、地域の賑わい創出を図る。	試験的な取り組みとして「MIYAGINO MARCHE(ミヤギノマルシェ)」を開催した。 開催日:11月17日	まちづくり	宮城野区文化センター	150	宮城野区まちづくり推進課
202	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野盆踊り普及事業	地域の繋がりづくりや地域活動の活性化のツールとして、宮城野区発祥の「宮城野盆唄」を使用した盆踊りを普及していく。	・普及用パンフレットの作成 ・区内連合町内会・単位町内会を対象とした盆踊り実施状況等のアンケート調査 ・教則用DVD・CDの作成	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	やりましよう盆踊り実行委員会、町内会・地域団体等	1,188	宮城野区まちづくり推進課
203	区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【仙台駅東口ガイド推進プロジェクト】ボランティア活動を通じ、地域の歴史・文化などを紹介する定例まち歩き、一般市民を対象とした公開講座、小学校の地域学習支援、NHK文化センター、地元町内会との連携活動を実施する。	定例まち歩きガイド:8回 その他まち歩き企画:3回 公開講座:4回 ガイド養成講座:4回 定例打合せ:24回 依頼ガイド:16回	まちづくり	東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」	380	宮城野区まちづくり推進課
204		【栄あそぼう会】地域を越えて、楽しみながら軽運動や脳トレ、季節の催し等により心身のリフレッシュと親睦を深め、健康寿命を延ばすことを目標に定例会や交流会を実施する。	毎月第2・第4水曜日の定期的な介護予防運動に加え、外部講師を招き計11回の交流会・講演会を実施した。	健康福祉・医療、まちづくり	栄あそぼう会	70	
205		【『消えた踏切』銘版で迎える仙石線】JR仙石線の踏切跡を銘版とともに案内する。また、銘版が設置されていない踏切跡に銘版を設置するよう、関係箇所に要望し、街歩き案内時に歴史等も含めて説明し活用する。	企画会:7回 定例会:9回 公開講座、出前講座:4回 現地調査:1回 パネル展示:2回	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	宮城野原案内人の会	80	
206		【仙台蒲生日和山プロジェクト】蒲生日和山の山開き登山等を実施し、中野・蒲生地区のシンボルである「日和山」を通して、住民の思い・歴史・震災の体験を語り継ぐ。そのほか、「公開中野ふるさと学校」講座を開催し、地域の過去・現在・未来と自然を考える。	定例会:17回 実行委員会:4回 仙台蒲生日和山登山:1回 宮城県内日和山調査:3回 公開講座:1回	まちづくり	中野ふるさとYAMA学校	400	
207		【親子で料理プロジェクト】農業体験・食育体験を通して参加市民の「家族の絆を深める」「食育力・農業技術の向上」を目的とする。活動を通して地域住民と地域外住民の交流を深め、活動地域の総合地域力向上に寄与する。活動地域の魅力を高め発信する。	農業体験:7回 料理教室:5回 地域交流イベント:7回	まちづくり、子どもの健全育成	宮城野親子で料理プロジェクト	340	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
208		【東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティを活発化させるプロジェクト】 「まち歩きCコース(新田地区)」の研究・マップ作りを進めるとともに、関係団体と連携して住民に東仙台のよさを理解してもらう。	まち歩き:5回 公開講座:2回 その他イベント:4回 会員相互の学び:4回	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	東仙台耀き歴史クラブ	130	
209		【いわきり遊学プロジェクト】 岩切地区において、あらゆる世代が交流できるイベントや遊びを通じ、楽しみながら地域を学び、世代間交流を図り、活気ある地域づくりに貢献する。	役員会:7回 イベント:3回	まちづくり	IOC(岩切おもしろ倶楽部)	80	
210	ふるさと底力向上プロジェクト: つるがや地域連携・活動マッチング事業	鶴ヶ谷地区をモデルに、高齢者人口の増加等に伴う諸課題に対応するため、関係機関の協働の取り組みにより、世代や分野を超えた連携拡大の仕組みを導入し、活動団体の活性化等に取り組む。	・地域の活動団体との意見交換やヒアリングの開催:28回 ・市民センター・地区社会福祉協議会・学校・地域包括支援センター等で構成する「連携ミーティング」の開催:2回 ・このほか連合町内会と協力しながら団体間の連携の強化や活動の活性化を支援した。	まちづくり	鶴ヶ谷地区町内会連合会をはじめとした地域団体、学校等	159	宮城野区ふるさと支援担当
211	津波被災地域まちづくり支援事業	移転対象地区以外の区域のうち、さまざまな津波防災施設の整備を行っても津波による浸水が予測される地区において、防災性の向上や地域コミュニティの再生を図りながら新たなまちづくりを支援するため、まちづくりコンサルタントを派遣し、地域との協働によるまちづくり計画の作成を支援する。	コンサルタントを派遣し、平成26年度に作成した「地区まちづくりアクションプラン」の実践・検証の取り組みを支援するとともに、これまでの取り組みの総まとめとしてアクションプランの見直し・改定を行った。	まちづくり	南蒲生、新浜の両地区における住民	7,950	宮城野区ふるさと支援担当
212	被災者交流活動助成-宮城野区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:15件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	1,488	宮城野区ふるさと支援担当
213	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区民ふるさとまつり	地域、世代を超えた交流および区民意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働により区民まつりを開催する。	区民で構成する実行委員会を中心にまつりの企画・準備等を行い、「平成とともに30回あつい想いをつなげよう」をテーマに実施した。 開催日:10月21日 実行委員会:7回	まちづくり	若林区まちづくり協議会	4,867	若林区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
214	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区合唱のつどい	若林区は古くから多くの合唱団体が活動しており、独自に合唱連盟を結成している。区民との交流を図ることを目的に、合唱のつどいを実施する。	合唱を主体とした音楽祭を、7月7日に開催。「合唱連盟わかばやし」加盟の合唱サークルや、区内小・中・高校の合唱部・吹奏楽部など、計22団体が出演した。 来場者数:985人	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	若林区まちづくり協議会	438	若林区まちづくり推進課
215	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域メディアの活用による(新しい地縁)創造プロジェクト	コミュニティFMを活用して、若林区および若林区まちづくり協議会が行う事業等の情報を発信する。区民から番組を制作するスタッフを募り、取材や編成を行う。	7月から平成31年3月までの9ヶ月間、毎月第1・第3土曜日10:00から30分間の番組をラジオ3にて放送した(毎月第2・第4土曜日は再放送)。また、取材内容等に関する全体会議を年4回開催した。	健康福祉・医療、社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	若林区まちづくり協議会	836	若林区まちづくり推進課
216	区民協働まちづくり事業-企画事業: わかばやし区春らんまん	賑わいと魅力のあるまちづくりの推進のため、若林区連合商店会と地元の町内会が協力して、地元も商店会も元気になるまつりを開催する。	屋台やステージ発表の他、もちまき、ビンゴ大会等を行った。また、実行委員会を年4回開催した。	まちづくり、地域経済活性化	若林区連合商店会春らんまん実行委員会	300	若林区まちづくり推進課
217	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域資源活用事業	若林区内に数多く残る「堀」という地域資源に着目し、その魅力を広く発信することで、歴史や文化、環境や景観、暮らしとのかかわりを深める機会を醸成する。	<六・七郷堀サポーターズ> ・定例会(おおよそ月1回) ・一般参加者を募集しての「堀DAYさんぽ」の実施(3回開催) ・第30回ふるさとまつりに参加(「ササ舟づくり指導」「堀なかツアー」) ・市民講座「今日は、堀DAY参観日」を開催 ・堀の辻標「水しるべ」モニュメントの補修を行った。	まちづくり、地域経済活性化、環境	有志市民スタッフ(六・七郷堀サポーターズ)	97	若林区まちづくり推進課
218	区民協働まちづくり事業-企画事業: ボッチャをととした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力差などに関係なく一緒に実践できるユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を活用した各種講座を開催することで、障害者(児)への理解を深めるとともに世代や年齢を超えた区民相互の交流を図る。	・「ユニバーサルスポーツ・ボッチャ運営スタッフ養成講座」(7回連続講座)を開催することで、ユニバーサルスポーツへの理解とボッチャを体験しながらルールやゲームの進め方を学ぶことを通して競技の普及や運営スタッフの育成を図った。 ・卸町市営住宅でボッチャを活用した出前講座「地域げんき倶楽部」を開催し、入居者同士の交流の場を提供した。(2回開催)	健康福祉・医療、まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	卸町市営住宅町内会	154	若林区中央市民センター
219	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べ	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしながらか、地域の自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	8月20日開催。コンサートや縁日、灯ろう流し、花火等を行った。 来場者数:約40,000人	まちづくり、環境、文化・芸術・スポーツ・学術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	若林区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
35 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区安全安心街づくり活動推進 モデル地区事業	モデル地域を指定し、町内会を中心とした地域団体等と警察、区役所等行政機関が連携しながら、防犯・交通安全の啓発活動・キャンペーンや研修会、防災訓練などを行い、総合的な安全と安心の街づくりに取り組み、地域住民が主体的で自主的な活動を継続できることを目的に支援を行う。	卸町地区を安全安心街づくり活動推進モデル地区に指定し、以下の事業を実施した。 ・調整作業部会2回、全体会議2回 ・自転車盗被害防止啓発活動 ・地域安全安心推進パレード ・特殊詐欺防止講座 ・会報3回発行	まちづくり、 地域安全活動	卸町地区安全安心街づくりの会	287	若林区区民生活課
220	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子を市民センターのボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のページや区役所でのパネル展示などで紹介していく。	・情報発信 「若林の点描」シリーズを市政だよりに掲載 掲載回数:12回 ・パネル展示 実施回数:2回 (区役所および若林区文化センター)	まちづくり、 その他	写真撮影ボランティア	98	若林区中央市民センター
221	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区地域学校連携推進会議	学校等との連携による人づくりや地域づくりを推進するため、若林区内の学校(小・中・高)・区役所・市民センター・図書館・文化センターの教員・職員が一堂に集まり、学校支援地域本部のスーパーバイザーなども交えて情報交換を行う。	「障害者理解における取組」および「地域連携担当教員の業務」の紹介のほか、中学校区ごと9グループに分かれてエリア別に情報交換会という内容で開催した。 市民会議の開催回数:1回 参加者数:99人	まちづくり、 子どもの健全育成	小・中・高等学校の地域連携担当者、嘱託社会教育主事、学校支援地域本部役員	30	若林区中央市民センター
222	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区健康づくり区民会議	「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇・ウォーキングイベント・健康づくりフェスティバルなどの健康啓発の主要事業の他、健康づくりの推進を検討する会議を行う。	・会議等の開催:計13回 ・健康づくり寸劇の上演:12回 ・健康づくりフェスティバルの実施 ・健康づくり啓発の媒体として既存のキャラクター着ぐるみや健康づくり手ぬぐいを活用して健康づくりの関心を高めた。 ・ウォーキングイベント(正しいフォームの習得)を実施した。 ・若林区の健康課題の分析を行い区民会議・推進部会にて課題の共有を図った。 ・げんきくん体操をせんだいTubeに掲載し、広報を行うとともに、外部団体との会議や研修会で実際の体操を実施した。	健康福祉・ 医療	輪っ！かばやし子育て応援団、若林区マイタウンスポーツ協会、若林区スポーツ協会、若林区内科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談事業所、青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会	563	若林区管理課、 家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
223	区民協働まちづくり事業-企画事業: 子育て推進ネットワーク事業	子育てしやすい環境づくりを目指し、「遊び・学び・出会いの場」を提供する。育児サロンや子育て交流事業の開催、情報誌の作成などを通じて、地域に密着した効果的な子育て支援を図る。 ①輪っ！かばやし子育て応援団活動 ②子育て情報ブック・マップ作成事業 ③七郷地区子育て交流事業	①輪っ！かばやし子育て応援団活動 ・子育てイベント(ウェルカムサロン)の開催 実施回数:3回 参加親子:27組 ・育児サロンの開催 実施回数:13か所、延べ53回 ・研修会の開催 実施回数:1回 ②子育て情報マップ「わっぴー」を作成し、新生児訪問時や転入手続時等で配布した。 作成数:4,500部 ③七郷地区の子育て支援関係者で交流会を1回開催した。	子どもの健全育成	輪っ！かばやし子育て応援団	650	若林区家庭健康課
224	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区魅力発信事業	若林区への愛着や興味を促進させることを目的に、地域の魅力を体感できるイベントである「若林わくどキまち歩き」の開催や区内の魅力を再発見できるよう地下鉄東西線沿線について記載したまち歩きマップ「若林WALKER」を発行する。	・若林わくどキまち歩き 区内各地でのまち歩きを実施した。 まち歩き実施回数:2回 ・まち歩きマップ「若林WALKER」 好評により、五橋・愛宕橋駅、河原町駅、六丁の目駅、荒井駅を増刷した。	まちづくり, 地域経済活性化, その他	若林区まちづくり協議会	773	若林区まちづくり推進課
225	区民協働まちづくり事業-企画事業: イラスト入り婚姻届書作成事業	区制30年を記念し、オリジナルイラスト入り婚姻届を、区民から意見をもらいながら作成する。また、デザインに若林区の特色や名所を盛り込むことによって、区の魅力を発信するとともに、使用する方に区への親しみを持ってもらう。	・アンケート、意見交換会の実施 ・イラスト入りオリジナル婚姻届の作成:2種類(各1,000部) ・ウェディングレコード(オリジナル婚姻記念カード)の作成:2種類(各250部) ・記念撮影ブースの設置	まちづくり	聖和学園高等学校、若林区役所来庁者等	680	若林区戸籍住民課
226	区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【ねこメイクdeまちあるき&ねこ灯籠づくりワークショップ】 猫塚古墳で行われる「ねこまつり」にあわせて、地域のこども達対象の「ワークショップ」や近隣の歴史的遺構、地域の歴史を辿る「まちあるき」を行い、東西線薬師堂駅や薬師高砂堀通りの利活用を促進するとともに、若林区南小泉地区周辺の魅力を発信する。	・ねこ灯籠づくりワークショップ 開催日:8月2日、8月23日 展示日:10月6日~7日 ・ねこメイクdeまちあるき 開催日:10月7日	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	猫塚古墳ねこまつり実行委員会	350	若林区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
227		【第3回心をつなぐ若林シーサイドマラソン】 震災の経験を風化させない、また復興により変わりゆくその道程を確認してもらうため、東日本大震災の沿岸部の被災地域である藤塚地区でシーサイドマラソンを開催し、この地域の再生と新たな利活用を推進する。	若林区沿岸部藤塚地区の沿岸部堤防を使ってシーサイドマラソンを開催した。 開催日:12月9日 参加者数:1,372人	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	若林シーサイドマラソン実行委員会	500	
228		【若林城下町・まち物語】 歴史的建造物が多く残る南材木町・河原町地域で新たに景観重要建造物に指定された「旧針惣旅館」を会場に歴史的価値や建築的価値を伝えるとともに、針生家をテーマとした朗読劇の上演を行うことで、市民のなかに共感と愛着を呼び起こし、地区全体の魅力づくりにつなげる。	朗読劇 開催日:11月17日、18日 入場者:106人	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	杜の都まちなか倶楽部	401	
229	ふるさと底力向上プロジェクト: 六郷東部地区現地再建まちづくり	六郷東部地区の各町内会や関係機関・団体等と連携し、地域主体のまちづくり活動について支援を行う。 平成29年3月に閉校した東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点とするため、グラウンド・駐車場・多目的広場などを整備する。	地域主体のまちづくり活動について、専門家を派遣する等支援を行い、地域住民と関係団体が実行委員会を組織し、「六郷東部ふるさと交流祭」が開催された。 開催日:10月28日 参加者数:約350人 東六郷小学校跡地整備について、実施設計を行った。	まちづくり	町内会、東六郷・東部かあちゃん'ず、一般社団法人 ReRoots、特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク	17,669	若林区ふるさと支援担当
230	被災者交流活動助成-若林区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:12件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	1,012	若林区ふるさと支援担当
231	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区民まつり	文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流、各種行政施策(交通安全、環境、消防など)のPRなど、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。	区民で構成する企画委員会を中心に事業の企画・準備を行ったほか、ステージ出演者およびテント村出店者対象の参加団体説明会、当日運営ボランティアへの説明会である実行委員会の開催等を経て、太白区民まつりを開催した。 開催日:10月21日 企画委員会:9回	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	5,232	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
232	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはくっこらぶ	太白区内の小学5年生および6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、同区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うこと通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。	・太白区内の自然、歴史、文化等をはじめさまざまな体験学習を行う「まちづくり塾」を各種の市民活動団体やジュニアリーダー等の協力を得ながら実施した。 実施回数:5回 ・「まちづくり塾」の企画・運営を検討する実行委員会を実施した。 実施回数:7回	社会教育、まちづくり、子どもの健全育成	太白区まちづくり推進協議会	646	太白区まちづくり推進課
233	区民協働まちづくり事業-企画事業: ディスカバーたいはく	冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。	・太白区内の名所旧跡をバスで巡る区内探訪会と徒歩で巡る探訪会を実施した。 実施回数:バス2回、徒歩1回 ・冊子ディスカバーたいはくと太白区の史跡遺跡マップをまちづくり推進課窓口でそれぞれ頒布した。 ディスカバーたいはく頒布数:28部 太白区の史跡遺跡マップ頒布数:14部	社会教育、まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	562	太白区まちづくり推進課
234	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区まち物語	地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源(人・物・場所)、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめ、手づくりの地域誌としての「まち物語」を製作し、地域を未来に語りつぐとともに、今後のまちづくりにつなげる。	・地域誌の製作活動を支援するため「西多賀まち物語作成委員会」に対して、助成金を交付した。 ・「西多賀まち物語作成委員会」が平成31年2月に地域誌「西多賀まち物語」を発刊した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、 太白区まち物語地区委員会	498	太白区まちづくり推進課
235	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはく若者まちづくりフォーラム	主に大学生を対象に、まちづくりへの関心の高揚を図るほか、まちづくり活動への参加を促進し、その活動を支援することにより、まちづくりの担い手となる人材の育成を図るとともに、地域のまちづくり活動を推進する。	・まちづくりに取り組む地域と大学(研究室)とのマッチングを図るとともに、学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。 助成件数:1件 ・東北工業大学と共同でまちづくりをテーマとした講座を平成30年度後期に開講した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	628	太白区ふるさと支援担当
219 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べ	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしなが、地域の自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べの実施 開催日:8月20日 来場者数:40,000人	まちづくり、環境、文化・芸術・スポーツ・学術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	太白区まちづくり推進課
236	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域と共に育む子どもの健康づくり事業	区内の児童館と連携し、健康学習教材を活用しながら子供の健康的な食生活・歯と口の健康づくり・防煙を進め、健康的な生活習慣が身に付くように支援する。	子どもたちに正しい生活習慣が身につくよう「健康的な食生活・歯と口の健康づくり・防煙」をセットにした児童参加型の健康教育を7児童館で実施した。 参加者数:340人	健康福祉・医療、子どもの健全育成	地域住民	98	太白区家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
237	区民協働まちづくり事業-企画事業: 認知症を支える地域づくり	高齢者が健やかに暮らし続けられるように地域包括支援センターと連携し、認知症をテーマに地域での支え合いの大切さを理解するため講演会等を実施する。	認知症に関する講座や講話・交流会を計6回実施した。 参加者数:356人 (①長町119人 ②郡山83人 ③富沢154人)	健康福祉・医療, まちづくり	長町地域包括支援センター、郡山地域包括支援センター、富沢地域包括支援センター	213	太白区障害高齢課
238	区民協働まちづくり事業-企画事業: 元気もり森まもり隊	住宅地に隣接する都市緑地において、「仙台市森林アドバイザーの会」の協力を得て、町内会や大学生・小学生との協働による緑地の環境整備(間伐、枝払い、下草刈り)を実施するほか、今後の緑地のあり方を検討する。	環境整備等実施:3回 参加者数:120人	まちづくり, 環境	仙台市森林アドバイザーの会、町内会、小学生	450	太白区公園課
239	区民協働まちづくり事業-企画事業: まつりだ秋保	秋保の豊かな自然や伝統文化、農作物や観光資源など地域の特性を生かしたまつりを開催することにより、訪れる人々に潤いと安らぎを与え、地域理解や活用PRによる地域活性化を図る。	まつりだ秋保2018を実施した。 開催日:10月28日 来場者数:2,300人	まちづくり	まつりだ秋保実行委員会	1,693	太白区秋保総合支所総務課
240	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保地区スポーツレクリエーション大会	誰でも気軽に参加できるニュースポーツを中心とした大会を実施することにより、冬期間の運動不足の解消や運動への動機付け、幅広い年齢層の地域間交流や地域の融和を図る。	第21回秋保地区スポーツレクリエーション大会を開催した。 開催日:2月24日 参加チーム数:14チーム 299人 個人種目参加者数:80人	まちづくり	スポレク実行委員会	279	太白区秋保総合支所総務課
241	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保ミュージアム環境整備事業	秋保全体を中山間地ミュージアムととらえ、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付けて魅力ある地域資源の活用・情報発信、協働による整備を地域全体の動きとしていくための連携体制づくりを進め、地域づくりにかかわる人材の育成や情報共有、交流人口増、中山間地の地域活性化と地域力向上を図る。	・秋保の魅力を伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×10,000部 ・魅力ある地域資源の環境整備 整備箇所:2か所 (白岩見晴台通路、豊後館散策路案内誘導板作製) ・秋保地区地域活動のつどいの開催 開催日:1月27日 参加者数:115人 事例発表団体:7団体 ブース出展団体:12団体	まちづくり	地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議	1,049	太白区秋保総合支所ふるさと支援担当
242	市民協働事業提案制度採択事業: 貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動	子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもたちの食をめぐる問題の解決を図り、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。	「おりぎの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。 実施期間:4月～平成31年3月 実施回数:91回(毎週木曜日、金曜日)	子どもの健全育成	特定非営利活動法人おりぎの家	1,502	太白区家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
243	区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【交流広場「Cocoにおいて」】 生出の自然、歴史、文化、農業体験を通し、「生きがいつくり」や「仲間づくり」を行うとともに、地域への愛着心を育む事業を実施することにより、地域活性化の担い手を育成する。	農業体験や太白山イベント等を通し、生出地域の資源を活用しながら、地域内外の人々と交流することで、地域のまちづくり活動の推進と担い手の育成を行った。	まちづくり、 地域安全活動	生出地区まちづくり委員会	336	太白区まちづくり推進課
244		【じょさんしフェスタinみやぎ2018】 妊娠を希望する女性や妊婦、乳幼児親子などを対象に、各種体験や相談の機会を提供する。	イベントを通して、妊娠等に対する相談の場を創出するとともに、思春期から更年期の幅広い女性の身近な相談相手として「まちなか」で存在する助産師の活動内容を紹介した。	まちづくり、 子どもの健全育成	じょさんしフェスタ実行委員会	266	
245		【つなごう 秋保千年の里山文化～長町の下町文化との連携共助の活動～】 秋保・長町地域において、秋保新特産品の普及支援や相互の文化理解と交流の場を創出する。	秋保および長町地域において、秋保新特産品「akiuいもの子」の普及支援や文化理解と交流・体験の場を創出する「@寺子屋」事業等を通して、お互いのさまざまな資源、人や文化の交流を行うことにより、元気な人づくり、里山づくり、まちづくりを推進した。	まちづくり	一般社団法人Soundキャンパス	500	
246		【「ぼうさいダンス」を世界に広げよう】 八木山地区で誕生した災害時の初期行動を学べる「ぼうさいダンス」を普及・発信し、地域の防災力の強化を図る。	子供向けの防災教育として八木山地域独自で制作したダンスを、高齢者・地域に住む外国人・八木山地域以外の方などに披露し、活動の場を広げ、多くの区民に防災の大切さについて発信した。	まちづくり、 地域安全活動、 子どもの健全育成	Yagiyama Area Reproduce Volunteer Group(YARVOG)	110	
247		【茂庭台 地域生き生きプロジェクト～地域包括ケアシステムの構築を目指して～】 施設の会議室などを地域住民に開放するほか、住民向けの講演会を開催するなど、地域活動の支援と交流を推進する。	会議室の無料開放や、講座を開講することを通じ、高齢者の孤立対策や地域住民の交流親睦を図り、地域の高齢者が社会との繋がりを持ち、安心して過ごすことができるよう支援を行った。	健康福祉・ 医療、 まちづくり	特別養護老人ホーム 茂庭苑	135	
248		【親子の笑顔が集まるまち長町】 若い世帯が増加する長町地域で、乳幼児親子などの交流やママの活躍の機会を創出する。	親子向けのイベントや講座を開催することで、出会いや交流の場の創出、子育てが豊かになることを目指すほか、活動をまち全体に広げて、活気あふれるまちづくり、子育てにやさしいまちづくりに貢献した。	まちづくり、 子どもの健全育成	ママンコロン運営委員会	423	
134 及び 137 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト： 生出地区活性化支援	①生出地区まちづくり 平成27年度から設置している「生出地区まちづくり委員会」において、地域の課題を整理・検討する。 ②坪沼小学校跡地利活用 平成28年度から設置している「坪沼地区ふるさと活性化研究会」において、住民意見交換会を開催する。	①生出地区まちづくり 勉強会を毎月開催し、分野別に地域課題の解決に向けた方策を検討した。 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼小学校跡施設利活用を中心に議論を重ね、要望書をまとめた。	まちづくり	①生出地区まちづくり 生出地区まちづくり委員会 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼地区ふるさと活性化研究会	11	太白区ふるさと支援担当

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
249	太白区まちづくりフォーラム	太白区内の地域団体や活動団体が一堂に会するフォーラムを開催し、活動事例を紹介するとともに、地域団体の交流会を開催する。	開催日:11月11日 参加人数:約150人	まちづくり	生出地区まちづくり委員会、秋保地域資源活用委員会、女性防災リーダーネット太白、富沢・長町地区おやじの会地域ネットワーク推進委員会 他、太白区内の地域団体等	652	太白区ふるさと支援担当
250	ふるさと底力向上プロジェクト: 秋保体験観光創出支援事業	①野尻地区体験観光創出支援事業 二口エリアの玄関口、里山の自然が豊かな野尻地区において、特色ある体験観光を提供するため野尻集会所を基点に、地元の特産であるそばや里山の「食」文化等を生かした体験観光、近隣の名取川清流「天神淵」での川遊び体験観光創出を支援し、市民や観光客との交流による活性化に繋げる。 ②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 秋保地区の「食」文化であり、観光の魅力の一つである「そば」について、さらなる発展を期するため、そばの郷「秋保」振興事業として、全国レベルの「そば打ち大会」を開催し、宮城のそば処として、内外に強力な情報発信(アピール)、地元産そば栽培意欲の増進、そば文化の振興を基軸とした地域活性化と、交流を促進し心豊かで潤いのある中山間地の活性化を図る。	①野尻地区体験観光創出支援事業 野尻地区において、交流カフェ「ばんどころ」の運営まで、協働による体験型観光の創出に取り組んだ。 ・天神淵川遊びモニター体験 開催日:7月14日～15日 参加者数:44人 ・野尻交流カフェばんどころ 開催日:毎週土・日曜日 ・野尻の冬 雪遊びモニター体験 開催日:2月9日～10日 参加者数:44人 ②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合等と連携し、新たな誘客、地産地消を推進した。 ・仙台秋保そばフェス2018の開催 開催日:6月9日～10日 総参加者数:1,841人 (一般来場者を含む) ・全麺協素人そば打ち段位認定 参加者数:34人(初段位・二段位) ・全日本素人そば名人大会東北予選 参加者数:47人	まちづくり, 地域経済活性化	野尻いぐする会、 宮城手打ちそば研究会、 東北工業大学 「仙台秋保そばフェス2018」連絡会議	205	太白区秋保総合支所ふるさと支援担当
251	たいはく朝市	太白区内の農業者と消費者との交流の場を創出し、農業者が生産した野菜を販売する朝市を開催する。	4月から12月の毎月第2・4日曜日に、太白区役所南側駐車場等で、朝市を開催した。 実施回数:18回	まちづくり, その他	たいはく朝市推進協議会	—	太白区まちづくり推進課
252	被災者交流活動助成-太白区	東日本大震災の被災者等を対象に復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	年間を通して助成事業の公募を行うとともに、申請のあった事業の審査や助成金の交付等を行った。 助成金交付実績:1件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	100	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
253	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民ふるさとまつり	区民のふるさと意識の醸成を図り、世代や地域を超えた新しいコミュニケーションの輪を広げていくため、市民参加のイベントとしてまつりを開催する。	泉区最大のイベントとして「ふるさと泉、まつりの輪」をコンセプトに実施した。 参加団体数:91団体 (ステージ発表、市民展示、縁日コーナー等) 開催日:8月25日 来場者数:143,000人 花火打上総数:4,500発	まちづくり	泉区民ふるさとまつり協賛会	7,354	泉区まちづくり推進課
254	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民文化祭	文化活動団体で構成された泉区文化協会会員および一般参加者が毎年、イズミティ21を会場に日頃の成果を発表する。	第39回泉区民文化祭を開催した。 入場者数:2,342人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市泉区文化協会	620	泉区まちづくり推進課
255	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみ朝市	生産者と消費者の交流および地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。	4月から12月までの第2・4日曜日(4月は第4のみ)にいずみ朝市を開催した。 開催回数:17回 延べ来場者数:10,210人	まちづくり	いずみ朝市運営委員会	100	泉区まちづくり推進課
256	区民協働まちづくり事業-企画事業: ニュースポーツフェスティバル	ニュースポーツを通じ地域住民の健康増進と体力維持を促進し、地域間交流や、親子・高齢者・子どもとのコミュニケーションを図ることを目的として、泉区民ふるさとまつりの際に七北田体育館を会場に、秋にはシェルコムせんだいを会場にニュースポーツの体験イベントを開催する。	・第19回ニュースポーツフェスティバル開催 参加者数:631人 ・第19回ニュースポーツいきいきフェスティバル開催 参加者数:48人(12チーム)	文化・芸術・スポーツ・学術	ニュースポーツフェスティバル実行委員会	270	泉区まちづくり推進課
257	区民協働まちづくり事業-企画事業: 将監沼ふれあい事業	中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。 区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。	将監沼周辺の間伐、下刈り等の実施、子育て事業の推進のほか、地域のコミュニケーションを図る下記事業を実施した。 将監さくら祭り開催:1回 沼のほとり音楽会開催:2回 将監ふれあいコンサート開催:1回 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル参加:1回 将監市民センターまつり参加:1回	まちづくり	「将監沼の自然」とふれあいを育む会	200	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
258	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳利活用推進事業	泉区のシンボルである泉ヶ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ヶ岳の魅力を生かした利活用を促進する。	・泉ヶ岳山開きに合わせ、会員と一般参加者で芳の平周辺の一斉清掃を実施した。 実施回数:1回、参加者数:64人 ・ミズバショウの保全管理計画の策定に向けたモニタリング調査等を実施した。 実施回数:3回、参加者数:58人 ・荒廃していた芳の平果樹園跡地を里山に戻すための下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。 実施回数:8回、参加者数:114人 ・希望する市民を対象に登山や泉ヶ岳自然観察会を実施した。 実施回数:4回、参加者数:126人 ・泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへ出店した。 実施回数:1回、参加者数:327人 ・リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布した。	まちづくり	泉ヶ岳利活用推進市民会議	600	泉区まちづくり推進課
259	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	市民に対し、泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、市民の交流を促進することを目的に、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを開催する。	2018泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを実施した。 実施回数:1回 参加者数:7,800人	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	1,440	泉区まちづくり推進課
260	区民協働まちづくり事業-企画事業: 区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発を行うとともに、泉区写真コンクール、泉区民デー等を開催する。	・泉区写真コンクールを実施した。 応募数:2部門102作品 ・泉区民デーを開催した。 参加者数:524人 ・泉区民ふるさとまつりに出展し、啓発活動を実施した。 ・市民憲章運動東北ブロック研修会に参加した。 ・市民憲章運動推進全国大会に参加した。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	520	泉区まちづくり推進課
261	区民協働まちづくり事業-企画事業: 七北田川クリーン運動	泉区のシンボルである七北田川の清掃活動と鮎の放流活動を行うことにより、ふるさとへの愛着心と環境保護についての意識の高揚を図る。	・七北田川の清掃活動を実施した。 会場数:4会場 参加者数:1,391人 回収ゴミ:760kg ・七北田川への関心や知識を高めるため、自然観察会を開催して、水質・水生生物調査観察、いかだ下りなどを実施した。 参加者数:小学生39人	環境	泉区まちづくり推進協議会	100	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
262	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行う。	緑化活動:7回 清掃活動:2回 参加者数:623人(11月) 1,124人(3月)	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	330	泉区まちづくり推進課
263	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会等を開催する。	・いずみのふるさと探訪会の開催 参加者数:20人(12月) ・サポーター研修会の開催 修了者数:12人	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	280	泉区まちづくり推進課
264	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	【大学地域ネットワーク】 大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、協定を結び連携協力活動を進める。	地域情報の収集と情報提供(地域イベントのチラシ、ポスター作成)に関して連携している。 ・泉区6大学まちづくりフェスティバル(大学の地域活動の発表およびワークショップ)を開催した。 参加者数:約100人 ・各大学が地域に入り、夏祭り等の地域イベントの企画・協力やステージの参加を行った。	まちづくり	泉・大学地域ネットワーク (泉区内6大学、泉区まちづくり推進協議会)	48	泉区ふるさと支援担当 (まちづくり推進課)
265	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【生文大ワクワクプロジェクト事業】 区内のイベントでシルクスクリーンの技法を使ったものづくりの体験講座を開催し、地域の方と交流する。	いずみハロウィン、泉区民ふるさとまつりおよび地域のイベントにて、シルクスクリーン等の技法を用いたトートバック作り、消しゴムはんこづくり、竹とんぼ作成等のワークショップを実施。泉区民文化祭では、高校・短大・大学の茶道部による野立て席やプロジェクションマッピング等も行った。	まちづくり	東北生活文化大学 版画研究室	90		
266	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【地域いきいきプロジェクト事業】 地域の方への庭掃除の支援や、地域の方の交流を促すため、地域主催のサロンへの参加や学生主催のイベントを実施する。	「地域の支え合いで暮らしを豊かに」をテーマに市民センター主催のサロンに参加するほか、学生主催の芸術祭や地域のお祭りに積極的に参加した。	まちづくり	仙台白百合女子大学 志水ゼミ	100		
267	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【健康な食事とおした絆づくり】 泉区内の住民を対象として、食に関する講話と試食を行い、健全な食生活に関するより実践的な理解を深められるような事業を行う。	市民センターや児童館にて、親子向けに料理の試作体験を行った。また、料理の体験だけでなく、講話やお正月遊びなどを行うことで、伝統料理の大切さを実感してもらった。	まちづくり	仙台白百合女子大学 佐々木ゼミ	80		

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
268		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【デザインによる地域活動支援プロジェクト事業】 区内のイベントのポスターや告知物をデザイン・制作し、地域の活性化を図る。	高森地区を中心に、夏祭りや集会所のイベント時にポスターやチラシを作成するとともに、当日の運営に参加した。将監南ふれあい祭りでは缶バッジ作成のワークショップを通じて、デザインの楽しさを子供たちに伝えた。	まちづくり	宮城大学 マイチゼミ	100	
269		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【ダンスを通して地域に貢献したい事業】 区内でよさこいとストリートダンスの演舞発表を行うほか、子ども向けのダンス教室や交流会を開催し、ダンスステージイベントを通じて地域の方との交流を図る。	地域行事にて、よさこいとストリートダンスの発表を行うほか、公開講座として子どもたちへのダンス教室や交流会を開催した。よさこいの団体は、泉区の団体を交えたよさこいイベントを立ち上げ、地域との交流の幅を広げた。	まちづくり、 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	聖和学園短期大学 DANCE FOR ALL!!	80	
270		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【地域Smile集まる居場所づくりプロジェクト・世代間交流2018】 高齢者、独居高齢者、老夫婦世帯の孤立化や閉じこもりの予防、生活不活性病や要支援・要介護状態の予防をするために、地域コミュニティ活動支援を実施し、交流の機会を設ける。	南中山・館六丁目・北中山地区で開催の高齢者を対象としたサロンや交流会へ参加した。各町内会役員や地域住民、施設職員等とサロンの打合せを行い、要介護予防体操やネイルなどのアクティビティを実施した。また、学園祭への招待や食事会の開催も実施した。	健康福祉・ 医療、まち づくり	聖和学園短期大学 地域サポーターズ聖笑	100	
271		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【スポーツによる地域貢献活動事業】 小学校でのサッカー教室の開催、みやぎ夢燈花などのイベントで、地域の小学生とのサッカーボウリングやゲームを通じ、学生のボランティア意識を高めるとともに、地域交流を進めていく。	学内および地域の小学校でのサッカー教室をはじめ、各種スポーツ・遊びの教室を展開。南中山児童センターと連携し、体育クラブの企画、指導を行った。ダンスや体育クラブ、野外活動のサポートなど、活動の幅を広げて地域の活性化に貢献している。	まちづくり、 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	聖和学園短期大学 スポーツクラブBOA SORTÉ	60	
272		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【本気田っちゃ、スマイルもりもりプロジェクト事業】 本田町および近隣地の住民と一緒に、介護予防自主グループ「ぬくもり会」における介護予防運動の取り組みをサポートし、会員の参加意識を高める活動を行う。	泉区本田町および近隣地域の住民と介護予防自主グループ「ぬくもり会」の介護予防運動のサポートを行った。さらに活動を広めるため、泉中央地区の認知症カフェで軽運動を行ったり、活動内容をあらわした「スマもり通信」の回覧や掲示を行った。	健康福祉・ 医療、まち づくり	東北学院大学 菅原真枝ゼミ	100	
273		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【みどころたべどころマップ～in泉区～】 女子大生目線で、インスタ映えするお店や、観光地をマップに載せ、地元事業者の集客を目指す。	泉区地域活性化のため、泉の魅力を伝えるために“インスタ映え”をキーワードに地元の魅力あふれるカフェ等を訪れ、マップにまとめることで、泉区おすすめのスポットを紹介した。	まちづくり	宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 渡部研究室	50	

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
274	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【バリアフリーマップの作成:みんなが楽しめる街・泉中央を目指して】 車椅子使用者を対象とした泉中央地区のバリアフリーマップを作成する。	車椅子使用者を対象とした泉中央地区のバリアフリーマップを作成することを目指したが、情報の収集と、スマートフォンでの閲覧が可能になるようウェブサイト作成方法について学び、SNSアカウントから情報発信した。	まちづくり	宮城学院女子大学 現代ビジネス学科土屋ゼミ	10	
275		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ラジオ番組:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「パワフル奮闘記」】 管理栄養士を目指す宮城学院女子大学食品栄養学科の学生が、企画作成するラジオ番組の1コーナーとして「泉区いいとこ大発見」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取り上げ、取材をもとに学生による情報・感想を交えて展開した。	企画作成するラジオ番組の1コーナーとして、「泉区いいとこ大発見」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所、行事を取り上げ、取材をもとに担当の学生による情報・感想を交え展開する。	まちづくり	宮城学院女子大学 正木ゼミ	32	
276	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTリアンデッキを会場に、地域関係者が連携・協力した新たなイベント(いずみハロウィン)を実施した。 仮装によるパフォーマンスステージや、キーワードラリー、フォトブース、物販や、大学生のワークショップブースの出店を行った。 来場者数:約9,000人	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	1,000	泉区ふるさと支援担当
277	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青少年健全育成事業	青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を提供することにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。	・少年の主張泉区大会(南中山中学校) 参加校:17校、来場者数:663人 ・標語コンクール 参加校:24校 ・地球のステージ(館中学校) 来場者数:約340人	社会教育, 子どもの健全育成	泉区まちづくり推進協議会	450	泉区家庭健康課
278	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を実施する。また、団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施する。	・全体会実施:3回 参加者数:48人 ・交流会実施:2回 参加者数:21人 ・実行委員会実施:4回 ・親子まつりの実施:1回 参加者数:416人 (大人223人、子ども193人)	子どもの健全育成	子育て応援倶楽部いずみん	111	泉区家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
279	区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【地域住民が相互に支え合い助け合う活動の実現】 安否確認希望世帯を訪問する「見守り・安否確認活動」、買い物・病院診療への付き添いや庭の樹木の世話などを行う「助け合い活動」、一人住まいの方や子育て世代や若い世代も対象とした「茶話活動」を実施する。	見守り・安否確認活動:28世帯を毎週訪問 助け合い活動:60件 茶話会:来訪者419人 茶話会関係イベント4件実施	まちづくり	やまわ会	350	泉区まちづくり推進課
280		【ママによるママの為のリフレッシュ!ママ講座支援】 母親のリフレッシュや憩いの場を提供するとともに、子連れでも安心してワークショップを開催できる環境整備をし、母親たちによるコミュニティづくりを推進する。	ワークショップ:11回、130人参加 フリーペーパー発行:4回、7,500部	まちづくり	Balletone ERI(バレトンエリ)	200	
281		【深めよう親子の絆!育てよう地域の絆!】 病児等の一時預かりやお産サポートなど子育て親への支援を行うとともに、地域の親子が地域の支援者と共同で野菜作りを行う活動を実施する。	地域の人々の支援を受けながら、7か月間野菜栽培に取り組んだ。 参加者数:親子10組 収穫祭の実施:1回 (会員、町内親子、支援者)	まちづくり	特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン	350	
276 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTリアンデッキを会場に、地域関係者が連携・協力した新たなイベント(いずみハロウィン)を実施した。 仮装によるパフォーマンスステージや、キーワードラリー、フォトブース、物販や、大学生のワークショップブースの出店を行った。 来場者数:約9,000人	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	事業番号 276と共通	泉区ふるさと支援担当
282	ふるさと底力向上プロジェクト: 郊外居住地区の課題対応事業	少子高齢化等により表出している郊外居住地区の課題に対応する。	泉区内で主に地域支え合い活動に取り組む団体取材し、事例集600部を作成するとともに、社会福祉協議会泉区事務所と連携し、ノウハウや情報共有を図ることを目的とした交流会を開催した。また、補助事業申請や事業推進にかかるアドバイス、新たに活動を開始する団体への支援を行った。	まちづくり	社会福祉協議会泉区事務所、鶴が丘一丁目町内会等	397	泉区ふるさと支援担当
283	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉西部地区活性化事業	泉西部地区の活性化を図るため、地域団体や地域事業者、住民等と連携・協力し、交流人口拡大および地域消費額の増加に向けた取り組みを実施する。	泉かむりの里観光協会や地域事業者と連携し、インバウンド向けの地域情報発信の取り組みを実施した。 また、今後のまちづくり懇談会の実施に向けたキックオフミーティングを開催し、参加者における認識の共有を図った。	まちづくり	泉かむりの里観光協会、地域事業者等	1,951	泉区ふるさと支援担当

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
284	社会を明るくする運動仙台市泉区推進委員会	法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。	・総会、役員会等の開催:計4回 ・広報、泉区役所懸垂幕、泉区民ふるさとまつり、地下鉄泉中央駅前での広報活動 ・内閣総理大臣メッセージの伝達 ・小学校での講話:毎年1校(南光台小学校) ・泉区まちづくり推進事業との共催事業(地球のステージ、標語コンクール)	社会教育、まちづくり、地域安全活動、子どもの健全育成	保護司会、更生保護女性会	122	泉区家庭健康課
285	仙台市泉区子ども会育成会	泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。	・総会、校区交流会(3回)、泉っ子キャンプ(2回)および研修会(2回)の開催 ・泉区民ふるさとまつり、泉ヶ岳悠・遊フェステバルへの参加 ・広報誌の発行	まちづくり、子どもの健全育成	仙台市泉区子ども会育成会	1,191	泉区家庭健康課
286	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	火災予防知識の習得や技術の向上を図る訓練や研修会、家庭用防災機器等の普及や街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を年間431回実施した。	地域安全活動	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会	12,700	消防局予防課
287	自分づくり教育推進事業: 職場体験活動推進協議会	学校におけるキャリア教育に対する支援を目的に企業関係者が参画する会議体として、主に職場体験およびインターンシップの受入についての支援促進を図るために、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議する。	年2回、職場体験活動推進協議会を開催した。 啓発活動に係る取り組み(ミニのぼり、パンフレット配布)、学校と受入事業所間のマッチングに係る取り組み(相談窓口)、受け入れ事業所の理解を推進するための方策等について協議し改善点を整理した。	まちづくり、子どもの健全育成	仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ仙台商工会、協同組合日専連仙台、宮城県中小企業家同友会、公益社団法人仙台青年会議所	48	教育局学びの連携推進室
288	自分づくり教育推進事業: 仙台子ども体験プラザ事業	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、将来の生き方について考える意欲や態度を育むため、協賛事業所等の協力のもと、体験型経済教育プログラム「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」を実施する。	・小学校のプログラム「スチューデントシティ」 実施回数:83回(119校) ・中学校のプログラム「ファイナンスパーク」 実施回数:97回(59校) ・スチューデントシティへの協賛企業との情報交換会 実施回数:3回	まちづくり、子どもの健全育成	市内協賛事業所等	67,163	教育局学びの連携推進室

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
289	不登校支援ネットワーク	市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特性を生かしながら相互にパートナーとして融合し、不登校の児童生徒やその保護者の支援を実施する。	以下の取り組みを実施した。 ・運営会議:2回 ・パソコン実習:16回 ・動物介護活動:5回 ・稲作体験活動:2回 ・ハートフルサポーターの活動 自然体験:3回 土曜のひろば:9回 ・不登校支援ネットワークワーキングとボランティア養成講座:2回 ・公開研究会:1回 ・減災結プロジェクト出前授業:1回 ・進路相談会:1回 ・創作活動:1回 ・職場体験・職場見学:23か所	子どもの健全育成	認定特定非営利活動法人仙台シニアネットクラブ、認定特定非営利活動法人あかねグループ、特定非営利活動法人エーキューブ、特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク、ことばの貯金箱「夢」プロジェクト、情報のあんこ、エルネット、くりこま高原自然学校、ハートフルサポーター、ハリウコミュニケーションズ株式会社、株式会社デンコードー、宮城県学校用品協会、株式会社北文社、株式会社ジャストシステム、オレンジフィールド、宮城教育大学、東北福祉大学、東北大学災害科学国際研究所	—	教育局教育相談課
290	楽学プロジェクト	小学5・6年生および中学生を対象に、さまざまな職業の講師による「講話」や「体験活動」を経験させることにより、子どもたちが「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会とする。	一般講座:45講座 参加者数:1,291人	子どもの健全育成	楽学プロジェクト委員会	394	教育局生涯学習課
291	スタジオ協働事業	「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。	・考えるテーブル 「てつがくカフェ」「民話ゆうわ座」などを実施した。 ・ラウンジでの展示 「どこコレ?」「知る 続く 在来作物プロジェクト」「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展 カラー編」「レインボーアーカイブ東北 企画展示『カミングアウト/クローゼット』」などを実施した。	社会教育	てつがくカフェ@せんだい、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台、みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム等	3,148	教育局生涯学習課
292	地域文化アーカイブ	市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらを基とした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。	「民話声の図書室」、「どこコレ?」、「細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ」などを実施した。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台等	事業番号 291と共通	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
293	バリアフリー文化事業	目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための点字翻訳、音声解説、字幕制作等のデータ作成を市民協働で行う。成果物を活用した上映会等や、作成にかかわる人材の育成、技術向上に向けた講座の開催など一連の取り組みを行う。	・バリアフリー上映会 実施回数:2回 延べ260人 ・各種研修会等 実施回数:5回 延べ12人 ・おはなし会:1回 18人	健康福祉・医療, 社会教育	仙台朗読奉仕の会、まほうの手等	509	教育局生涯学習課
294	地域文化連携事業	各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を生かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。	ショートピース! 仙台短篇映画祭、せんだいデザインリーグ2019卒業設計日本一決定戦等を実施した。 年間参加者数:19,563人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	仙台短篇映画祭実行委員会、仙台建築都市学生会議他	2,529	教育局生涯学習課
295	震災の記録・市民協働アーカイブ事業	震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形で利活用を行う。	公開コンテンツ:映像5本、写真68枚 ウェブ閲覧数:約1,987,568回 「星空と路」開催 上映会:延べ169人 展示:延べ2,704人(3月7日~11日)	社会教育, 地域安全活動	市民の参加者	13,204	教育局生涯学習課
296	倉人祭(くらんどさい)	大倉地域町内会と協力し、伝統芸能、郷土料理や地場産品の販売などを行い、他地域の人々との交流や賑わいの創出に寄与する。	倉人祭を開催した。 来場者数:約350人	まちづくり	倉人祭実行委員会	283	教育局生涯学習課
297	仙台市立学校施設の開放(学校施設開放事業)	社会体育の普及ならびに幼児および児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。	学校施設開放実績:187校 うち自由活動開放実績:37校	文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	管理運営委員会	41,236	教育局生涯学習課
298	社会学級開設	学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。	社会学級開設実績:112件	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	小学校・特別支援学級に開設する社会学級	4,995	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
299	学校図書室等開放事業	市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図ることを目的とした、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。	学校図書室等開放実績:20件	社会教育, 子どもの健全育成	各学校図書室等開放推進委員会(学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織)	4,759	教育局生涯学習課
300	仙台市小中学校PTA運営費補助金	市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	社会教育, 子どもの健全育成	仙台市PTA協議会(各市立小・中・特別支援学校PTA)	32,487	教育局生涯学習課
301	仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金	実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:8件 延べ利用人数:31,749人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会	7,788	教育局生涯学習課
302	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の歴史的な知識と会場の雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を歴史民俗資料館で実施した。 参加者数:42人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	—	教育局文化財課
303	歴史民俗資料館サポーター活動	仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・秋・冬の小学3年生による見学を中心とする展示解説や、ゴールデンウィークおもしろ昔体験・れきみん秋祭りといった各種イベントの補助を実施した。 サポーター登録者数:23人 ・企画展・特別展の概要説明および展示見学等を行う館主催のサポーター会を5回開催した。	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	歴史民俗資料館サポーター会	—	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
304	仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動	富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・地下および1階の常設展示の展示解説やイベント・講座等の補助を実施した。 ボランティア登録数:70人 ①展示解説 延べボランティア数:849人 延べ活動時間数:2,158時間 ②イベント等の補助 延べボランティア数:470人 延べ活動時間数:1,504時間 ・館主催のボランティア育成事業を実施した。 養成講座:6回 スキルアップ講座:2回 実技研修:1回 施設等研修見学会:1回	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	209	教育局文化財課
305	地底の森フェスタ2018	富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。	地底の森フェスタ2018を実施した。 参加者数:1,590人	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	115	教育局文化財課
306	企画展「もりの風景2018」	富沢遺跡保存館が主催する展示事業。ボランティア会など館に関連する団体も含め、1年間の活動の様子をパネルで紹介する。あわせてボランティアが制作した作品・収集の石材などの展示を行い、館の活動とその成果を展示して広く市民へ周知を図るとともに、次年度の募集について広報を行い、生涯学習活動を発表する場とする。	・ボランティアが制作した石器や土器、編布など約35点と解説パネル30枚を展示した。 ・会期中、関連イベントとして編布班によるバレンタインリースづくりを行った。 ボランティア参加者数:8人	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	17	教育局文化財課
307	縄文の森広場ボランティア活動	縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。ボランティアとして登録した方が、あらゆる活動への取り組みを通して、生涯学習活動を実践する場となっている。	・ボランティア登録数:69人(平成30年度) ・イベントだけでなく、開館日の随時体験にも対応している。 延べ年間活動人数:424人 延べ活動時間:2,837時間 延べ活動日数:949日 ・館主催のボランティア養成講座を6回開催したほか、グループ活動・施設等研修見学会を実施しスキルアップを図った。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	縄文の森広場ボランティア会	168	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
308	縄文まつり	季節に応じた体験イベントやコンサートを通して縄文の森広場の利用促進を図るため、1年に計4回、ボランティア会と連携して実施する。	縄文春まつり参加者数:411人 縄文夏まつり(コンサート含む)参加者数:620人 縄文秋まつり参加者数:293人 縄文冬まつり(コンサート含む)参加者数:388人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	縄文の森広場ボランティア会	1,267	教育局文化財課
309	仙台・文化財サポーター会	文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。	文化財サポーター養成講座を実施して育成を支援した。 講座実施回数:10回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台・文化財サポーター会	56	教育局文化財課
310	薬師堂手づくり市	文化財の普及、利活用を促進するため、陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会のガイド活動を支援する。	毎月8日の手づくり市に文化財展示コーナーを設営してガイド活動を支援した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	手づくり市実行委員会	—	教育局文化財課
311	史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設ガイド活動	史跡陸奥国分寺跡と尼寺跡への理解を深めてもらうため、陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会へガイダンス施設や史跡内における解説活動を依頼する。また聖和学園高等学校生徒のガイド活動を受け入れ、支援する。	開館日からのガイドを行った入館者数は約8,600人。 計4回の歴史講座を実施し、会員の募集に協力した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会	12	教育局文化財課
312	史跡整備(活用)	文化財の普及、利活用を促進するため、特定非営利活動法人のガイド活動を支援する。	活動のための器材の貸し出し、仙台城跡調査成果の情報提供を行った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	特定非営利活動法人仙台城ガイドボランティア会	—	教育局文化財課
313	仙台市博物館展示解説ボランティア(三の丸会)	常設展示の展示解説および館庭案内を行う。	・常設展示について32,070人に解説を行った。 活動日数:309日 ・館庭について697人に解説を行った。 活動日数:154日	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	三の丸会	45	教育局博物館
314	知能ロボットコンテスト・フェスティバル2018	ロボット技術の専門性を有するロボット競技会実行委員会と協力し、小中学生を対象とした「ロボコンジュニア」および学生・一般等が対象の「知能ロボットコンテスト」の実施を支援する。	「知能ロボットコンテスト・フェスティバル2018」を開催した。 (ロボコンジュニアは2日間のうち1日のみ実施) 延べ参加者数:930人	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	ロボット競技会実行委員会	100	教育局科学館
315	きのこ展	キノコの専門性を有する仙台キノコ同好会と協力し、キノコ標本の展示・解説や同定会等の実施を支援する。	「きのこ展」を開催した。 延べ参加者数:2,705人	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台キノコ同好会	100	教育局科学館

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
316	仙台市科学館サイエンスインタプリタ(せかぼクラブ)	展示解説や実験工作などの体験教室の支援を行う。	・1,203人に展示解説を行った。 ・47,736人に対して体験教室の支援を行った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	せかぼクラブ	25	教育局科学館
317	段ブロックコーナー設置	段ブロックプロジェクトと協力し、段ボールを素材としたブロックの普及を図るとともに、子供の科学やものづくりへの興味関心を高める。	常設展に段ブロックで工作するエリアを設置した。	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	段ブロックプロジェクト	—	教育局科学館
318	市民センター事業	各市民センターにおいて各種事業(講座)を実施する。 市民協働事業例: 図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座	講座数:739講座 3,731回	社会教育, まちづくり, 環境, 文 化・芸術・ス ポーツ・学 術, 国際交 流・協力, 男女共同参 画社会, 子 どもの健全 育成	地域住民、地域団体等	25,099	教育局生涯学習支援センター
319	市民センターまつり	作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供するとともに、まつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。	開催館数:53館	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	地域住民、地域団体等	事業番号 318と共通	教育局生涯学習支援センター
320	学びのコミュニティづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。	委託実績:5件	社会教育, まちづくり	大和学びのコミュニティ推進委員会、幸町小おやじの会、東仙台小学校区学コミ推進委員会、八木山おやじの会、田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	1,040	教育局生涯学習支援センター
321	成人式における選挙啓発	仙台市成人式において、新成人に投票意識の向上を呼び掛ける。	啓発チラシ、啓発物資および啓発冊子を配布した。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアグループ Activate仙台	5	選挙管理委員会事務局選挙管理課
322	選挙出前授業	仙台市内の中学校、高等学校および大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。	市内学校等18か所にて計25回実施した。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアグループ Activate仙台	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
323	選挙啓発ボランティア事業 (Activate仙台)	投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。	定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見の提供や提案を行ったほか、啓発ポスターの選定や成人式での啓発活動等へ参加した。 活動者数:10人	その他	市民の参加者	32	選挙管理委員会事務局選挙管理課
324	選挙啓発事業	東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取り組み機会を増やすため、同センターの事業への市の参加について協議する。	平成29年の仙台市長選挙後に実施した「仙台市民投票意識調査」の結果について、東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに引き続き分析を依頼し、検討会を実施した。	その他	東北大学 (東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター)	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
325	若者と議員の交流会	若者と政治をつなぐ活動をしているNPO法人と協働で、低投票率が続く10代、20代の若者を対象に市議会議員との交流会を開催する。	Voters Cafe in 仙台 2018 —若者と議員の交流会—として11月17日に実施した。 若年層参加者:44人 市議会議員:7人(各会派1人ずつ)	その他	特定非営利活動法人 YouthCreate	297	選挙管理委員会事務局選挙管理課
326	水源地親子ツアー(青下水源地・水道記念館)	小学生の親子を対象として、仙台市の水道水源「青下水源地」において、水道の仕組みや森林の役割を学びながら間伐体験を行い、森林や水源環境を保全する大切さを啓発する。	水源地親子ツアーを実施した。 実施回数:1回 参加者数:40人	社会教育、 環境	仙台市森林アドバイザーの会	195	水道局総務課
327	災害時給水栓による地域の飲料水確保	災害により断水が発生した際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるよう、市立小中高校に災害時給水栓を設置するとともに、防災訓練等における操作方法のレクチャー等を通じ、定着を進める。	平成29年度までに設置している災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明を実施した。 平成30年度までに説明した箇所数:107か所 (平成30年度に説明した箇所:17か所)	地域安全活動	地域団体(避難所運営委員会等)、市立小中高校	41,815	水道局計画課
328	宮城バスまつり	バス車両の展示や各種イベントを通じて、「ひと・まち・自然」にやさしいバスへの理解と愛着を深めてもらうことを目的に、実施主体である公益社団法人宮城県バス協会の会員として、他の傘下バス事業者と連携を図りながら開催する。	9月15日に、“出かけよう!地球にやさしいバスの旅!”をテーマとして開催され、バスと綱引きやお楽しみ抽選会などを実施した。	その他	宮城県バス協会、民間バス事業者	9	交通局業務課
329	社会人講師理科特別授業「炎の不思議」	社会人講師による小学校の理科特別授業を支援する団体と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活のかかわりを啓発する。	小学校2校で特別授業を実施した。 (学級数:5学級)	子どもの健全育成	一般社団法人教育総合支援機構ゆわう	—	ガス局営業企画課

事業番号	事業名	事業内容	平成30年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 平成30年度担当課
330	「放課後子ども教室」における出前授業	「放課後子ども教室」を実施している各小学校の運営委員会と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活のかかわりを啓発する。	小学校5校で出前授業を実施した。(参加児童数合計:107人)	子どもの健全育成	各小学校の「放課後子ども教室」運営委員会	—	ガス局営業企画課
331	市民協働事業提案制度採択事業:がん患者等に対する再就職支援及び就労継続支援協働事業	①院内における定期就労相談会(月2回) ②ピアサポートカフェ(患者茶話会)の実施 ③専門家(社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー)による相談支援 ④仕事と治療の両立支援シンポジウムの開催	①年間活動日数:24日、相談件数:45件 ②年4回実施、14人参加 ③年2回開催、21人参加 ④115人参加	健康福祉・医療	一般社団法人パーソナルサポートセンター	2,330	市立病院総合サポートセンター
332	入院患児の療養支援	①大学生のボランティアサークル「スモールエンジェル」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、遊びを通して療養生活を支援する。 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会から派遣される「道化師」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、パフォーマンスを通して療養生活を支援する。	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 年間活動日数:31日 ボランティア延べ参加者数:75人 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会 年間活動日数:23日 ボランティア延べ参加者数:46人	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会	25	市立病院総合サポートセンター
333	院内の図書貸出サービス	院内のボランティアグループ「けやき文庫」が、土曜日は院内1階ロビーで、平日は各病棟の面会ホールで、入院患者を対象に図書の貸し出しサービスや蔵書の整理を行っている。	年間活動日数:266日 ボランティア延べ参加者数:801人	健康福祉・医療, 文化・芸術・スポーツ・学術	ボランティアグループ「けやき文庫」	25	市立病院総合サポートセンター
334	院内の案内・介助支援	院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、および四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し、養成講座を実施した後にボランティア登録した方が活動している。	年間活動日数:246日 ボランティア延べ参加者数:1,272人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	27	市立病院総合サポートセンター
335	傾聴ボランティア	入院患者の悩みや寂しさを和らげられるよう、1対1で真摯に話を聴き、心のケアを行う。平日、30分～1時間程度の活動を行う。	年間活動日数:72日 ボランティア延べ参加者数:73人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	25	市立病院総合サポートセンター